

地球と人にやさしい企業をめざして

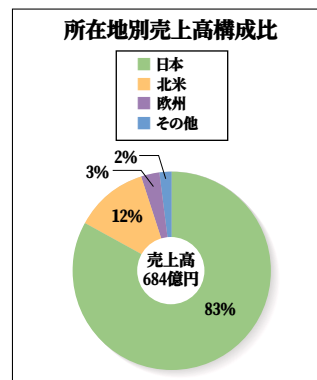
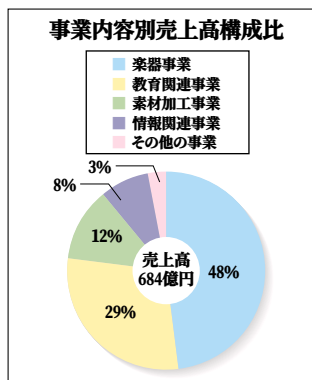


環境社会報告書2005

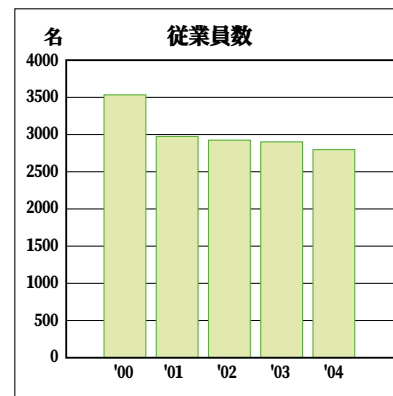
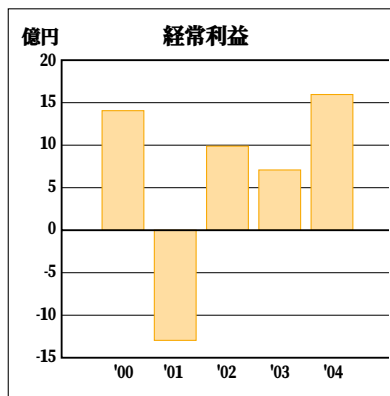
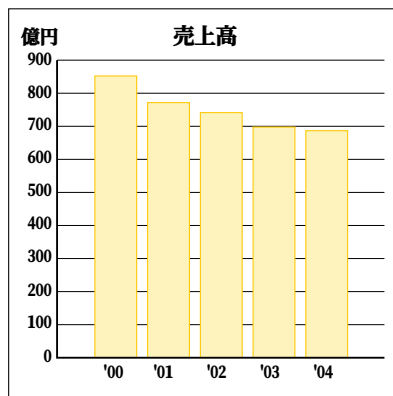
カワイグループの事業と会社の概要

社名 株式会社河合楽器製作所
本社 静岡県浜松市寺島町200番地
創立 1927年(昭和2年)8月9日
代表者 代表取締役社長 河合弘隆
資本金 46億円(2005年3月末現在)

売上高		2002	2003	2004
単独	百万円	57,525	54,030	54,338
連結	百万円	73,554	69,283	68,376
従業員数		2002	2003	2004
単独	名	1,476	1,571	1,936
連結	名	2,894	2,878	2,782



カワイグループ 連結子会社 24社
持分法適用子会社 5社



当社グループの主な事業

楽器事業

ピアノ、電子楽器、管・弦・打楽器、楽器付属品、楽器玩具の販売及び楽器調律・修理の役務提供業務

国内での販売

全国直営店・デパート・販売代理店 (株)ディアパソン 他4社

海外での販売

カワイアメリカコーポレーション
カワイヨーロッパGmbH.
カワイカナダミュージックLtd.
カワイオーストラリアPTY.Ltd.
河合貿易(上海)有限公司
カワイ英国Ltd.
カワイオランダB.V.
カワイアジアPTE.Ltd.
海外販売代理店

楽器の調律・修理

調律サービス室
(株)カワイテクノセンター

楽器の保管・配送

業務部 物流室

楽器の国内での製造

(株)河合楽器製作所 舞阪工場
(株)河合楽器製作所 竜洋工場
メルヘン楽器(株)

楽器の海外での製造

カワイアメリカマニュファクチャリングInc.
ミディミュージックセンターInc.
PT.カワイインドネシア
カワイアジアマニュファクチャリングSDN.BHD.
河合楽器(寧波)有限公司



教育関連事業

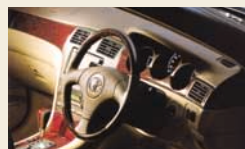
音楽教室・体育教室の運営、教材販売・楽譜・音楽教育用ソフトの製造及び販売



素材加工事業

電子機器部品用材料、自動車部品用材料、防音室、音響部材の製造及び販売

金属異形圧延加工品の製造
自動車部品用材料の製造
防音室・音響部材の販売



カワイ精密金属(株)
(株)カワイハイパーウッド
河合楽器及び
(株)カワイ音響システム



情報関連事業

OA機器の販売修理及びソフトの販売、情報処理事務サービス事業

(株)カワイビジネスソフトウェア
(株)カワイテクノセンター 他

KBS
株式会社 カワイビジネスソフトウェア

その他事業

金融関連事業、環境清掃用品の販売、保険代理店事業等
(株)カワイアシスト
カワイボックス(株)

編集方針

内容

- ・カワイグループにおける環境活動側面に加え2003年版からはコンプライアンス等社会的側面を掲載し企業における社会的責任を充実させ前回からタイトルを「環境報告書」から「環境社会報告書」に変更いたしました。なお経済側面につきましては概要を左頁に、経営計画等を「はじめに」の中へ記載し、カワイのマネジメントへの取組みを報告しました。
- ・経済側面の詳細につきましては当社ホームページや「有価証券報告書」をご参照願います。

対象

- ・お客様、お取引先、従業員、株主・投資家、地域住民・NGO、行政・国際機関など多様なステークホルダーの皆さまを対象としています。

2005年版について

- ・出来得る限り各項目ごとに方針（ポリシー）を記述し、皆さまにカワイの取組みをわかりやすく伝えるように努めました。
- ・製品・サービスにおける環境配慮については各ステップごとに纏めました。
研究・開発・設計・調達→製造→輸送・販売→使用・廃棄
- ・関連資料は資料編にまとめました。
- ・記載内容の信頼性確保のため下記のガイドラインを参考に致しました。
 - ・環境省「環境報告書ガイドライン(2003)」
 - ・環境省「事業者の環境パフォーマンス指標ガイドライン2002」
 - ・GRI「持続可能性報告のガイドライン2002」
 - ・経産省「ステークホルダー重視による環境レポートガイドライン2001」
 - ・環境省「環境会計ガイドライン2005」
- ・また客観性を高めるため第三者機関「テュフ・ラインランド・ジャパン株式会社」に評価を依頼し、第三者意見書を掲載しました。

報告対象期間

- ・2004年度（2004年4月～2005年3月）を主体としていますが、一部重要な事項については2005年4月以降の最新情報も含んでいます。
- ・集計方法の見直しなどにより、既報データを一部修正し掲載した項目・数値があります。

報告対象組織

- ・(例)河合楽器製作所
本社/舞阪工場/竜洋工場
- ・メルヘン楽器(例)
- ・(例)カワイハイパーウッド
- ・カワイ精密金属(例)
本社・浜松工場/松本工場
- ・* (例)ケーシーピーは、2005年2月に舞阪工場金属部品課としてカワイ本体内に組込まれました。

報告書発行履歴と次回発行予定

- ・環境報告書2001 2001年12月
- ・環境報告書2002 2002年11月
- ・環境報告書2003 2003年10月
- ・環境社会報告書2004 2004年11月
- ・環境社会報告書2005 2005年09月

次回は2006年9月を予定しています

目次

◎はじめに

- カワイグループの事業と会社の概況 1
- 編集方針/目次/2004年度活動の概要 2
- 社長コミットメント 3
- カワイの経営の理念、行動指針 4
- 経営計画 4
- 新中期経営改善計画 5
- 環境経営 5
- コーポレートガバナンス

◎環境報告

- カワイの環境への取組み 6
- 地球環境憲章/カワイ環境方針
- カワイの環境推進組織
- 環境経営 7
- 2004年度の環境目標と実績 8
- 環境マネジメントシステム 9
- 環境教育 10
- 環境会計 10
- 製品・サービスにおける環境配慮 11
- 研究・開発・設計・調達段階
- LCA/木材調達/グリーン調達 12
- 製造段階
- 環境汚染物質への配慮
- 化学物質への適正管理
- PCB廃棄物の保管
- 地球温暖化防止への取組
- 廃棄物削減への取組み 13
- 輸送・販売段階
- 流通における温暖化対策 14
- 使用・廃棄段階
- 容器包装リサイクル法
- リユース・リサイクル
- 環境パフォーマンス 15
- 環境影響収支 17
- サイトでの取組例 18
- 法規制の順守

◎社会性報告

- 組織で働く全ての人との関係 19
- お客様との関係 20
- 満足度 21
- 社会貢献活動 22
- 環境コミュニケーション 23
- 情報発信
- 地域活動への参画

◎資料編

- 環境負荷サイト別一覧 25
- カワイグループの歩み 26
- 第三者意見 27
- 2004年度アンケート結果 29
- 2005年度アンケートのお願い 30

2004年度活動の概要

項目	達成度	関連ページ
環境経営指標	😊	7
地球温暖化防止	😞	12,13
資源循環活用	😞	13,15
資源有効活用	😞	7,15
人材育成環境教育	😊	9
順法	😊	18
グリーン調達	😊	11

😊 達成 😞 あと一歩

環境会計

環境保全コスト

総計 272,282千円(投資額 117,711千円、費用 154,571千円)

環境保全効果(2003年補正值との比較)

エネルギー投入量 12 テラジュール

水資源投入量 -46 千m³

化学物質取扱量 28 ton

CO₂排出量 568 ton-CO₂

廃棄物処理量 436 ton

経済効果(2003年との比較)

省エネルギー 10,209 千円

節水 1,738 千円

廃棄物処理費 -7,800 千円

「お客様の満足」「環境経営」をキーワードに 「快適で豊かな生活環境の創造」を追及しつづけます。

社長コミットメント

企業の存在意義として、株主や取引先の皆様、お客様や従業員というステークホルダーに経済的な意味での利益を提供することだけでなく、社会の公器としての意義がいま問われています。すなわち、法令を順守するのはもちろんのこと、企業活動そのものが社会規範に則ったものであるか、すみよい地球づくり、よりよい社会づくりに貢献するものであるかという点です。

私ども河合楽器グループは、音楽を表現する道具である「楽器」を皆様にお届けすることから始まり、音楽・体育教育事業を通じて子どもたちの豊かなところからだの発育をお手伝いしてきました。さらに、楽器づくりで培った技術を発展させ、金属・塗装等の素材加工事業、情報事業も展開しております。音楽を核とした事業で、世界中の人々の豊かな暮らしに貢献してきた自負もございますし、また従業員一同それを誇りに思っております。今後も幅広い事業分野において豊かな生活環境を提供し、活動を継続していくことを約束いたします。

さらに、社会的責任を進んで果たしていくために、地球や人、地域や社会との関係において、より積極的に情報を発信し、コミュニケーションをとりながら自らを律し、新しい環境に対応していくことが必要です。それは、現在取り組んでいる中期経営計画の目指すところである、より高い収益性、健全性、透明性にもつながってきます。中期計画の中では、継続的に企業価値を高めていく上でも、コーポレートガバナンスの充実を最も重要な経営課題としてとらえており、株主総会、取締役会、監査役会、会計監査人などの法律上の機能に加え、経営体制の改革、内部統制の整備等の様々な方策を実現させるとともに、タイムリーな情報開示により公正で透明性の高い経営体制の実現を目指しています。また、コンプライアンス経営の推進のために「カワイ倫理規範」、「倫理行動規準」を制定し、法令順守はもとより社会的な規範に則った経営を進めるとともに、企業倫理室を主体に、企業倫理ホットラインの運営と従業員への教育、啓蒙による意識の向上に努めています。

地球環境問題についても、楽器メーカーとして世界で初めての環境ISOの取得(1997年竜洋工場)など、早くから取り組んでおります。

2005年2月、京都議定書が発効となり、二酸化炭素の排出削減について義務が発生しました。私たちの暮らすこの地球を守る具体的な動きが、世界規模で始まったと言っても過言ではありません。当社では地球環境委員会の様々なワーキンググループ(WG)が「地球と人にやさしい企業をめざして」をキーワードに、以下の項目等の活動の計画／推進・進捗管理を行っております。

「環境汚染物質への配慮」「化学物質への適正管理」「地球温暖化の防止」等を中心に環境に配慮した経営を推進し持続可能な社会の構築に向けグループ一丸となって推進してまいります。なかでも、今回はグリーン調達WGに森林資源の保護、まだらふくろうや白頭鷺といった野生生物の保護をも含めた「木材調達ガイドライン」の策定を指示致しました。

このように、私どもカワイグループはよき企業市民としてのあり方を追求し、その活動をこの環境社会報告書などを通じて発信してまいります。

私たちは「お客様の満足」を第一に商品・サービスを提供します」を経営の理念に謳っております。お客様や社会に感動を伝え、コミュニケーションし、そして信頼の得られるカワイとなるよう目指しています。そのために「お客様の満足」「環境経営」をキーワードに「快適で豊かな生活環境の創造」を追及しつづけます。

今回は報告書の情報の信頼性、取り組みについてテフラインランドジャパン株式会社に第三者としてのご意見を頂きました。今後とも皆様のご理解とご協力をいただけますようこの環境社会報告書がステークホルダーの皆様とのコミュニケーションツールとなれば幸いに存じます。どうぞ忌憚のないご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。



取締役社長

河合 隆雄

カワイの経営の理念・行動指針

経営の基本的な考え方と方向性

カワイの原点は
音楽
社会貢献

顧客指向性
企業倫理

新しい時代への
対応
持続社会

闊達な企業風土の
創造
社会的責任

創業以来私たちはより良い楽器づくりと音楽文化への貢献を目的として企業活動を続けてきた。社会や産業の構造が大きく変化する中で、私たちがより幅広く人々の生活文化に貢献してゆくため、また新時代にむけて新しいカワイを創生させるため、ここに新経営の理念を制定するものである。

経営の理念

創造性豊かな好感度企業を目指して

快適で豊かな生活環境を創造します
お客様の満足第一に商品・サービスを提供します
新しい時代に向かって企業活動を推進します
社員を大切にし、明るい企業をめざします

行動指針

現状に満足せず、常に開拓者精神に燃えて
失敗を恐れずアグレッシブに行動しよう
常に向上心を持ち自己研鑽に励もう
豊かな創造性を発揮し、変化する時代に挑戦しよう
自然との共生を大切に、社会に役立つ活動を積極的に行おう
音楽文化の担い手として、自信と誇りを持って行動しよう

KAWAI
1996年4月1日現在

積極果敢

自己の向上

挑 戦

地球環境
保護活動

継 続

カワイグループ全体の
活動の根拠をなすもの

新しいビジョンによる経営体制の強化と KAWAIブランドに対する信頼の維持を図ります。

経営計画

新中期経営計画／株主・投資家の皆様へ

新中期経営計画

財務体制の強化と株主の皆様への長期安定的な利益還元を図るため、2004年4月より新中期経営計画をスタート致しました。同計画は経営体制をより強靱なものとするため、本業回帰を基本軸に経営資源を有効再配分し、より高い収益性、健全性、透明性を目指す経営体制確立のための改革とその実践を図るものです。



同計画の初年度である当年度は国内営業体制及び音楽教室の抜本的な見直し、中国など拡大が予想される市場への対応、国内外の生産拠点の見直し、資産圧縮および有利子負債の削減促進などキャッシュフローを重視した諸施策に取り組みました。

この結果、当連結会計年度の売上高は68,376百万円となりました。利益につきましては、海外生産の拡大や音楽教室の統廃合等による原価の低減および経費の削減により営業利益は2,164百万円、経常利益は1,607百万円となりました。

新中期経営計画

[単位:億円]

	初年度 (2004)		第2年度	最終年度
	計画	実績	計画	計画
売上高	688	684	686	708
営業利益	18	22	26	31
経常利益	12	16	19	24

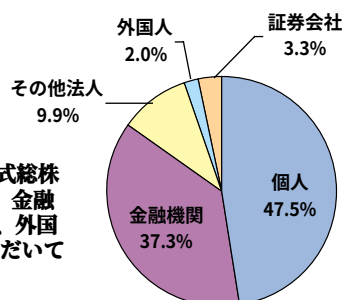
株式の状況

2005.3.31現在

発行予定株式総数	288 百万株
普通株式	282 百万株
第1種優先株式	6 百万株
発行済株式総数	76 百万株
普通株式	72 百万株
第1種優先株式	4 百万株
株主総数	9,850 名
第1種優先株式	1 名

株主の所有者別状況

2005.3.31現在、当社の普通株式株主数は9,850名で、個人に47.5%、金融機関に37.3%、その他法人に9.9%、外国人に2.0%の株式を保有していただいています。



1.計画期間

2004年4月1日～2007年3月31日

2.基本姿勢

企業価値の拡大と恒常的利益体制の構築

3.基本方針

1利益体制の確立

主力の楽器事業及び教室事業における収益改善
エリア主導の新販売体制へ転換し営業力を強化
価値連鎖による実践型ビジネスモデルの構築
ピアノ生産体制の集約再編による原価低減の徹底

2財務体制の強化

資産圧縮及び有利子負債の削減促進
キャッシュフロー経営の重視

3企業体制の改革

人心の一新を図りチャレンジする企業風土の創造
利益重視への政策転換
実力、成果志向の新人事処遇制度の早期導入
ITの積極的活用による業務効率化と戦略的活用

情報の開示

◎IRサイト



<http://www.kawai.co.jp/ir/>

ステークホルダーの皆様にかわいの経営戦略や財務内容を開示し適切な企業価値へと結びつける活動（IR）の手段としてホームページにIRサイトを開設しています。

新着情報のほか財務データをトレンドでまとめた「財務データ」や「決算公告」「決算情報」「事業報告書」「株式情報」などを主な内容としています。

◎事業報告書

株主の皆様には、事業報告書を年2回お送りしています。直近の財務情報に加え、トップのコメントや当期のトピックス、事業所紹介などをお伝えしています。



継続的に企業価値を高めていくには コーポレート・ガバナンスの充実が最も重要な経営課題と捉えています。

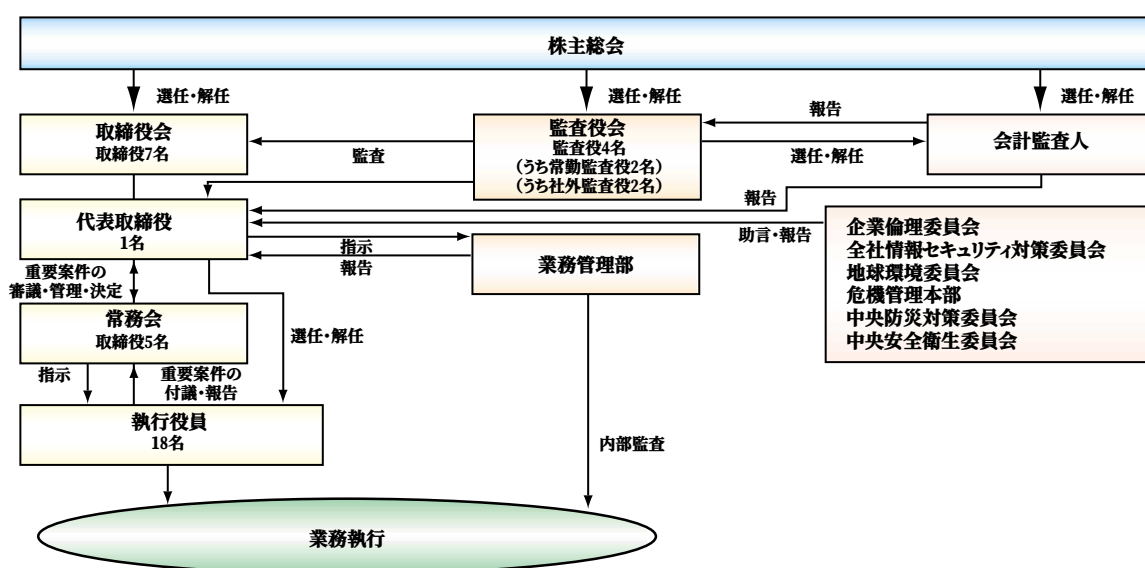
経営計画

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスの状況

当社は継続的に企業価値を高めていく上で、コーポレート・ガバナンスの充実を最も重要な経営課題として捉えており、そのためには株主・投資家の皆様、お客様、取引先、地域社会、従業員等の当社を取り巻く様々なステークホルダーの皆様から信頼を勝ち得ることを目指す経営姿勢が重要であると考えています。その実現に向け、カワイでは株主総会、取締役会、監査役会、会計監査人などの法律上の機能に加え、経営体制の改革、内部統制の整備等の様々な方策を実現させるとともにタイムリーな情報開示により公正で透明性の高い経営体制の実現を目指しています。

- ・監査役会：社外監査役2名を含む4名で構成
- ・取締役会：7名で構成(社外取締役は0)
- ・平成14年4月より執行役員制度を採用(現在18名)
- ・平成17年6月29日開催の第78期定時株主総会以降においては取締役の役割と執行役員の役割の区別をさらに明確化した上で、取締役の機能と執行役員制度の強化を図り、全社的課題への対応および業務執行における指揮命令系統を充実
- ・経営会議体として
ステアリング・コミッティ
全社戦略会議
各種戦略会議



リスク管理体制の内容

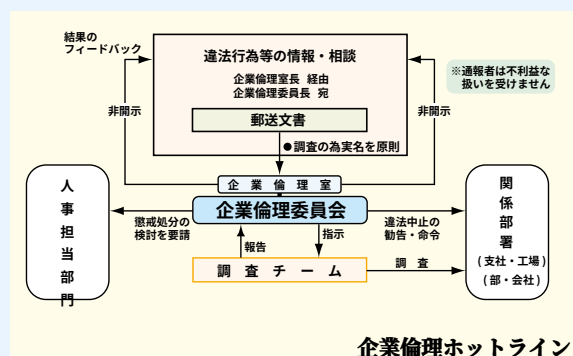
当社のリスク管理体制は、業務執行に伴うリスクを未然に防止し、またリスクが顕在化した場合には、社会的、経営的な影響を最小限にとどめるため、職制により組織的に対応するものから、

必要に応じグループ全体を対象とした委員会を設置するなどの、機動的な対応に努めています。

主なリスク管理に関する委員会

*企業倫理委員会

コンプライアンス経営を推進するため、法令順守に加え社会的な規範をも包含したコンプライアンス要綱（カワイ倫理規範、倫理行動基準を含む）を制定するとともに弁護士等外部有識者を加えた企業倫理委員会を設置しています。また企業倫理に関する統括部門である企業倫理室を主体に、企業倫理ホットラインの運営と従業員への教育、啓蒙によるコンプライアンス意識の向上に努めています。



*全社情報セキュリティ対策委員会

平成17年4月より施行された個人情報保護法への対応として全社情報セキュリティ対策委員会を編成しました。カワイグループにおける個人情報を含めた機密情報のセキュリティ確保、適正な情報管理体制の構築、情報漏洩等の事故防止対策を推進しています。

*地球環境委員会

カワイは1994年に地球環境委員会を設置し、地球環境の保全に積極的に取り組んでいます。地球環境委員会ではカワイ地球環境憲章、カワイ環境方針、グリーン調達ガイドライン等を制定、また環境に関する法令の順守はもとより環境保全の目的・目標を定め環境汚染によるリスクの軽減に努めています。

*危機管理本部

突発的な事件、事故、災害等の対応および海外駐在員ならびに海外出張者のリスク管理を行う為設置されました。

*中央防災対策委員会

カワイグループにおける火災、風水害、その他の災害の予防対策確立及び災害発生時の被害を最小限に止めるための諸活動を行っています。

*中央安全衛生委員会

カワイグループの従業員の安全衛生思想の高揚を図り、災害及び疾病を予防するための諸活動を行っています。

カワイ地球環境憲章に基づく環境方針で オールカワイの推進組織により環境保全活動を展開します。

カワイの環境への取組

地球環境憲章/環境方針/環境推進組織



カワイ環境方針

カワイ地球環境委員会

私たちは、楽器製造をはじめとする様々な事業の中で、環境への影響を配慮した活動を行い、地球環境の保全に向けた継続的な改善と汚染の予防に努めます。

- 環境マネジメントシステムにより、環境負荷の低減や有益な環境側面を発掘し推進することを目標に設定するとともに、社会の期待や大きさに応じた定期的な見直しを実施します。
 - ① 社会の期待と環境負荷に配慮した「製品、サービスの提供」「技術の開発」に努めます。
 - ② 開発、生産、流通、販売、サービスなどの各部門において「地球温暖化防止」「資源循環活用」「資源有効活用」に努めます。
- 必要な資源の調達・購入に際しては、より環境負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入します。(グリーン調達)
- 環境に関連する法規制を遵守するとともに、その他の要求事項を考慮して自主的な基準を設け、環境管理レベルの向上に努めます。
- 環境教育を通じ、全社員の意識向上を図るとともに、一人ひとりが広く社会に目を向け、日常業務や日常生活の中で自主的な貢献活動ができるよう啓蒙と支援を行います。
- この環境方針を達成するため、環境管理担当役員を総括責任者とした環境管理の組織、運営制度を整備し、目標・計画・施策・責任を明確にして環境保全活動を展開します。

カワイ地球環境委員会 委員長
上席執行役員 安部敏弘

地球と人にやさしい企業をめざして



《基本理念》

「環境問題」は、多岐にわたる社会問題の一つとして、企業活動の一環として、環境に配慮した活動を行い、地球環境の保全に向けた継続的な改善と汚染の予防に努めます。

《活動方針》

1. 社会の期待と環境負荷に配慮した「製品、サービスの提供」「技術の開発」に努めます。
2. 開発、生産、流通、販売、サービスなどの各部門において「地球温暖化防止」「資源循環活用」「資源有効活用」に努めます。
3. 必要な資源の調達・購入に際しては、より環境負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入します。(グリーン調達)
4. 環境に関連する法規制を遵守するとともに、その他の要求事項を考慮して自主的な基準を設け、環境管理レベルの向上に努めます。
5. 環境教育を通じ、全社員の意識向上を図るとともに、一人ひとりが広く社会に目を向け、日常業務や日常生活の中で自主的な貢献活動ができるよう啓蒙と支援を行います。

地球環境憲章

カワイは素晴らしい地球環境を後世に伝えるためには、総合的かつ継続的な取り組みが必要であると認識しています。世界の良き企業市民として環境の保全に努めつつ、人と地球にやさしい優れた商品を通じて社会からの信頼と共感の道を進むために「地球環境憲章」を1994年に制定致しました。



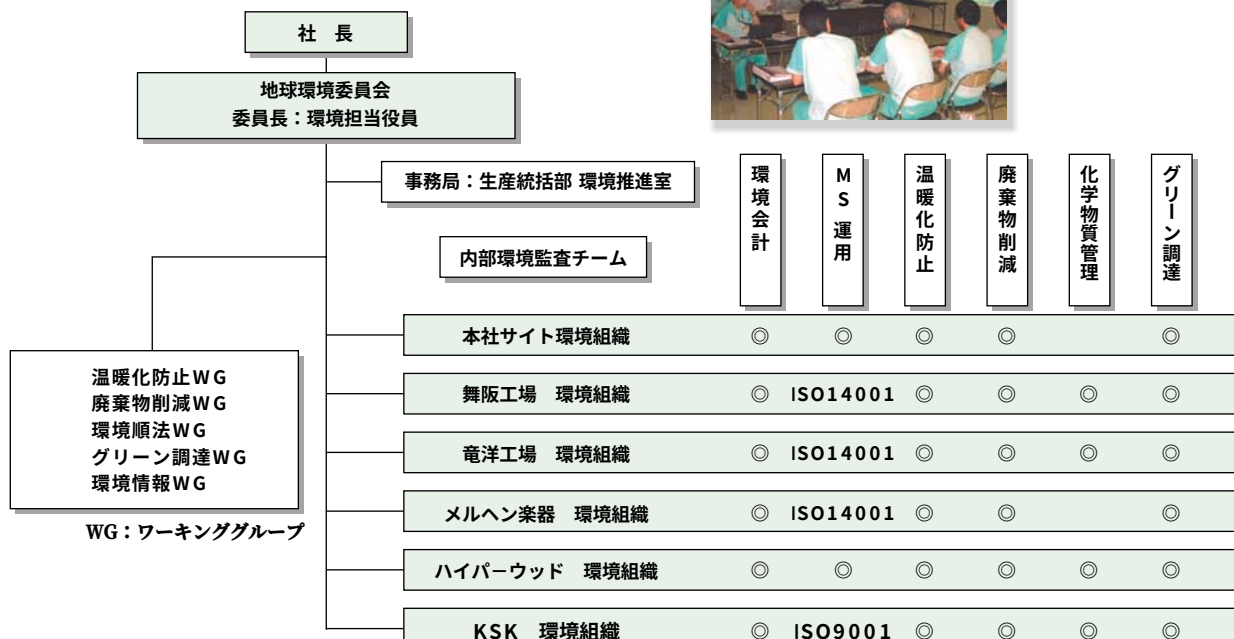
http://www.kawai.co.jp/company/earth_env.html
<http://www.kawai.co.jp/kankyo/>

カワイ環境方針

河合楽器地球環境委員会はこの「地球環境憲章」を受け「環境方針」を制定しています。今年度も見直しを図りました。《有益な環境側面の発掘》《地球温暖化防止》《資源循環活用》《資源有効活用》《グリーン調達》等の推進に全社一丸となって邁進します。

カワイの環境推進組織

環境経営を推進する組織として、1994年に環境担当役員を委員長とする地球環境委員会を設置し、環境保全に関する全社環境方針や目的・目標を設定し活動しています。毎年環境月間の6月には各サイトの昨年度実績及び当年度の目標を報告する全体会議を開催しており、2004年度は『環境の日』に因んで6月4日(金)に実施致しました。



運用23項目の内満足できたものは16項目に留まりました。
次年度は一層の努力をいたします。

環境経営

2004年度の環境目標と実績 および次年度目標

2004年度の環境目標と実績 および次年度目標

2004年度は環境3カ年計画の初年度でした。運用23項目の内16項目は満足できる結果となりましたが、残る項目については今一步の状況で終わりました。次年度は対策施策の見直しを図り目標値を達成するよう努力します。(あと一步の項目の分析・対応につきましては、後日ホームページ上で報告致します。)

項 目		基準年	目的年	2004年度			次年度	報告書
				目標	実績	評価	目標	関連頁
地球温暖化防止	エネルギー原単位を3%減	2003	2006	-1%	6%	😞	-2%	7
	電力量原単位を3%減	2003	2006	-1%	6%	😞	-2%	7
	電力量を絶対値比15%削減	2003	2006	-5%	4%	😞	-10%	15
	エネルギーCO ₂ 排出量を15%削減	2003	2006	-5%	5%	😞	-10%	15
	物流輸送に伴うCO ₂ 排出量を20%削減	2003	2006	-5%	-12%	😄	-10%	13
資源循環活用	廃棄物(埋立焼却)原単位を9%削減	2003	2006	-3%	1%	😞	-6%	7
	廃棄物(埋立・焼却)排出量を絶対値比10%削減	2003	2006	-3%	-2%	😞	-6%	15
	再資源化比率を60%以上とする	2003	2006	運用	77%	😄	運用	7
資源有効活用	水使用量を20%減	2003	2006	-5%	-18%	😄	-10%	15
	化学物質使用量を10%減	2003	2006	-3%	19%	😞	-6%	15
人材育成環境教育	内部監査人ブラッシュアップ教育			26名	30名	😄	100%	9
	階層別環境教育			100%	100%	😄	100%	9
	法定資格者の2倍育成			100%	100%	😄	100%	9
順法	環境法規制への対応			100%	100%	😄	100%	18
	罰金科料件数ゼロ件			0件	0件	😄	0件	8
地域貢献 コミュニケーション	地域イベントへの参加			100%	100%	😄	100%	23 24
	環境工場見学の受け入れ(竜洋工場)			300人	477人	😄	300人	23
	近隣からの訴訟・苦情			0件	0件	😄	0件	8
環境配慮製品	LCA評価による環境配慮設計			100%	98%	😞	100%	11
	環境影響物質の削減 鉛削減			鍵盤 鉛	縦型ピアノ	😄	鍵盤 鉛	12
				無鉛半田	電子ピアノ	😄	無鉛半田	12
グリーン調達	GPNガイドラインの活用			100%	100%	😄	100%	11
	カワイガイドラインの運用			運用	運用	😄	運用	11
	サプライチェーンマネジメント			取引率15%	取引率29%	😄	取引率40%	11

次年度目標は2003年を基準年とした中期計画の初年度目標値です

😄 達成 😞 あと一步

指標	単位	前々年 2002	基準年 2003	当年度 2004	基準年比 [%]
環境経営指標					
エネルギー原単位	百万円/ton-CO ₂	6.95	7.16	6.70	93.6%
電力量原単位	GJ/百万円	3.14	2.95	3.14	106.4%
廃棄物(埋立・焼却)原単位	GJ/百万円	2.69	2.39	2.53	105.9%
廃棄物(リサイクル)原単位	kg/百万円	6.22	7.33	7.26	99.1%
再資源化率	kg/百万円	6.51	18.22	24.59	135.0%
		50.8%	71.2%	77.0%	

環境経営指標：売上高／CO₂排出量
原単位：売上高100万円に対する指標

環境マネジメントシステムをカワイの環境経営の基本的なしくみと位置付け 楽器製造事業部門の早期取得をめざしました。

環境経営

環境マネジメントシステム

ISO14001認証取得状況

世界一のピアノづくりを進めるカワイは「美しい音は美しい環境からしか生まれない」と信じています。20年前、竜洋工場の建設に当たり敷地を緑地化し「森の中の緑の工房」をめざしたのもこうした信念があったからなのです。

かけがえのない地球の環境問題を、社員一人ひとりが身近なところから考える。その思想と想いは私たちのつくるピアノの音にきっと表われる。そんな確信のもとにカワイは全社をあげて環境保全に取り組んでいます。

カワイでは環境マネジメントシステムを環境経営の基本的なしくみと位置付け、楽器製造事業部門の早期取得をめざしました。97年にグランドピアノ製造の竜洋工場が楽器業界で世界初のISO14001を取得したのを初め、アップライトの舞阪工場、電子楽器製造のメルヘン楽器(株)と続けて取得し、グループが一体となった継続的な環境パフォーマンスの改善活動を推進しています。

今後は品質マネジメントシステムのISO9001とともに環境及び品質を守る仕組みの維持向上に努めます。

ISO14001

生産サイト	取得年月
カワイ竜洋工場	1997/09
カワイ舞阪工場	1998/09
メルヘン楽器(株)	1999/10



環境リスクマネジメント

環境リスクを防止するため、カワイは法律で定められた基準よりもさらに厳しい自主管理基準を設けています。また起こりうる事故を想定した緊急事態対応訓練も定期的に行っています。



地震時等の破損による油の流出を想定して現場で定期テストを実施しています。緊急資材の配備状況、流出防止側溝シャッターが機能しているか等の検証や緊急時連絡体制に不具合がないかなど手順書の見直しも行います。

環境監査

当社ではISO14001規格で要求されている継続的改善のスパイラルを回すため、定期的な「外部審査」「内部環境監査」を実施しています。

<外部審査>

認証取得サイトでは、認証機関により毎年のサーベイランス審査、3年毎の更新審査でシステムが有効に機能しているかが審査されます。2004年度は下記の日程で実施されました。

生産サイト	審査年月	審査の種類	評価	重	軽	観
カワイ竜洋工場	2004/8	7年目1年次審査	向上	0	0	4
カワイ舞阪工場	2004/7	6年目更新審査	適合	0	1	1
メルヘン楽器(株)	2004/9	5年目2年次審査	向上	0	0	1

重：重大な不適合／軽：軽微な不適合／観：不適合以外の観察事項

指摘事項に対し全て是正処置を完了し、かつ他部門への展開を図るなど継続的改善に努めています。

指摘事項の例

9社の廃棄物処理委託業者中8社を有意側面から外すなど、環境側面評価において常識的論理に沿っていない。また場内の厨房委託業者も有意側面から除いている。

是正処置

廃棄物処理委託業者として一括で環境側面に登録するなど環境側面評価の仕組みを簡単・明瞭にします。



<内部環境監査>

各サイトでは、年1回以上の頻度で内部環境監査を実施しています。システム上や運用上の問題点を抽出し不具合の点を是正しています。内部監査では、悪い点だけでなく各サイトでの良い点を他部門にも広げるよう、水平展開にも重点をおき環境マネジメントシステムの継続的改善を図っています。

2004年度の実施状況は下記のとおりです。

生産サイト	審査年月	評価	重	軽	観
カワイ竜洋工場	2004/07	向上	0	1	10
カワイ舞阪工場	2004/12	向上	0	1	12
メルヘン楽器(株)	2004/08	向上	0	0	6



2004年度の事故等

2004年度も環境に関する法規制値の逸脱、事故、苦情はありません。また訴訟・罰金・科料もありませんでした。なお2001、2002、2003年度も同様ありませんでした。

環境教育は環境経営実現の第一歩と認識しています。

環境経営

環境教育

環境教育

カワイでは環境経営実現のためには、教育が不可欠と考え、グループ員の環境教育・啓発に努めています。ISO取得工場ではEMSに基づいた全員教育、各種専門教育を実施し継続的改善を進めています。2003年度はカワイ音楽学園の生徒達にも授業の一環として環境教育を実施し「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育に関する法律」にも対応致しました。教育には各種のテキスト、プレゼンシートを用いていますが、環境報告書もメインのテキストとして活用し社員の環境意識の向上に役立てています。



音楽学園生徒
授業・教育



全員教育

専門教育



内部環境監査員の養成／ブラッシュアップ教育

カワイでは内部監査の精度の向上のために内部環境監査員の養成をまた、内部監査員の能力向上のため、ブラッシュアップ（レベルアップ）教育を実施しています。

今年も新たに4名（舞阪2、竜洋1、メルヘン1）を監査員として追加登録し、三サイトで30名となりました。



主な教育の内容

	教育の内容	対象者
一般教育	新入社員教育	新入社員
	ISO14001 自覚4項目等	ISO取得工場全員
	ISO9001:2000 規格要求事項 「環境について考えよう」	ピアノ部門管理者他 役員、従業員、音楽学園生徒
専門教育	内部環境監査員養成	内部環境監査員予定者
	ブラッシュアップ教育	内部環境監査員
	各種環境専門教育	ISO取得工場担当者及び関連者
	「有機溶剤取扱教育」 「グリーン調達とは」	取扱作業員力量教育 購買部門(部品・原材料、文具類)取引先

環境教育のテキスト



グリーン調達とは

環境について考えよう



環境社会報告書について



2004.12.14

4 環境パフォーマンスに対する企業自身の評価や説明が加えられている

- ・パフォーマンスがどのような活動の結果として達成されたかの具体的な説明がされている
- ・パフォーマンスについて十分な説明が加えられ、今後の課題が示されている

報告書の作成目的

- ・企業の社会的説明責任
- ・社外との環境コミュニケーション
- ・従業員への環境教育ツール

環境会計は環境経営のものさしとして捉えています。 2004年度の環境保全コストは2億7千万円でした

環境経営

環境会計

カワイでは環境会計を、環境経営の定量的指標のものさしとして捉え、2000年度から環境省のガイドラインに基づいて集計を始めました。2004年度も昨年と同様の基準、対象範囲としましたが一部インフラの整備により対象から外れたサイトがあります。

当社の環境会計はまだ発展途上であり、保全コスト効果の把握・集計にとどまっていますが、指標化・活用化を図り、環境経営に役立てていきます。

参 考 書 環境省環境会計ガイドライン 他
対象サイト カワイグループ国内6サイト
対 象 期 間 2004年4月～2005年3月

環境保全コスト

[単位：千円]

分 類	2004年度の事例	2002		2003		2004	
		投資額	費用	投資額	費用	投資額	費用
事業エリア内コスト							
公害防止コスト	浄化槽維持管理等公害防止に掛けたコスト	3,729	22,069	147	15,608	382	29,114
地球環境保全コスト	ボイラー付帯設備撤去費が大半でした	813	1,806	61,000	225	21,000	842
資源循環コスト	廃棄物のリサイクル・処分のコスト		98,637		63,496		69,782
上・下流コスト	ピアノのリサイクル、グリーン調達		65,876		67,306	10,065	18,101 *1
管理活動コスト	EMSの運用費、環境測定費用等		39,862		48,790		23,874
研究開発コスト	RoHS&WEEE対応。その他の研究開発費	87,000	11,713	90,364	7,286	79,714	6,754
社会活動コスト	環境に特化した工場見学等への対応		8,667	131,964	7,618	6,550	6,104
環境損傷対応コスト	当年度もありませんでした		0		0		0
計		91,542	248,630	283,475	210,329	117,711	154,571
投資額と費用の総計			340,172		493,804		272,282

投資額118百万円、費用額155百万円となりました。
カワイグループ設備投資総額(770百万円)に占める環境への投資割合は15%、研究開発費総額(783百万円)における環境研究開発コスト(73百万円)の割合は11%でした。

また、保全コストの総計は272百万円で前年に比べ221百万円減少しました。
昨年はボイラー解体費や浜名湖花博への寄付など例年と異なる投資項目に費消されたことによります。

環境保全効果

効果量は前年補正值と比較しています。環境保全効果は負荷発生量の防止や抑制代替品への転換といった活動を項目ごとに集計したものです。2004年度は残念ながらエネルギー投入量、化学物質取扱量がやや増加しました。一部の事業所にて業容の拡大がありA重油、塗料の使用量等が増大しました。

サーマルリサイクル燃料としての木屑がダイオキシン対策等によるボイラーの廃止に伴い廃棄物化したため、その量が増えています。

廃棄物処理量2,187トンの内木屑は1,325トンあり、木屑の占める割合は61%でした。

またこの木屑は業者に委託し100%再資源化しています。

実質経済効果は右表のとおりです。
省エネルギー等により前年比1千万円余の効果がありました。廃棄物処理費は8百万円増加致しました。

*1 上・下流コスト及びリサイクルによる事業収入の集計に変更があります。ピアノのリサイクルを担っていた(株)ピアノリサイクルがカワイ本体内に組込まれたためコスト及び利益の計上方法が前年と変わっています。

削減効果

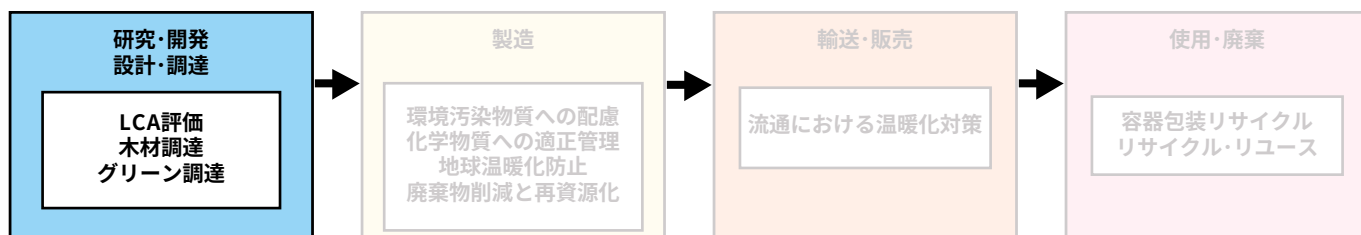
	単位	2003	'03補正值	2004	削減量
INPUT					
エネルギー投入量	テラジュール	204	202	214	-12
水資源投入量	千m ³	277	273	227	46
化学物質取扱量	ton	141	139	167	-28
OUTPUT					
CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	10,392	10,257	10,825	-568
製造段階	ton-CO ₂	9,673	9547	10,192	-645
流通段階	ton-CO ₂	719	710	633	77
廃棄物処理量	ton	1,774	1751	2,187	-436

実質経済効果

内 容	単位	2002	2003	2004	前年比
リサイクルによる事業収入	千円	49,021	54,420	11,155	- *1
エネルギー料金	千円	431,633	366,491	356,282	10,209
用水料金	千円	18,256	13,226	11,488	1,738
廃棄物処理費	千円	36,574	46,714	54,514	-7,800

ライフサイクル全体を踏まえた環境配慮型製品の提供をめざします。
事業活動における環境テーマを明確にしました。

製品・サービスにおける環境配慮



研究・開発・設計・調達

LCA

当社では、研究段階から廃棄にいたるまでの製品の全ライフサイクルにおいて、製品が環境に与える負荷を定量値し、総合的に環境影響評価を実施しています。

評価項目は消費エネルギー、資源枯渇、地球温暖化、酸性化、富栄養化の5項目です。
右表はグランドピアノ RX-2GのLCAデータです。ライフサイクル全体にわたっての消費エネルギー量は16,100メガジュールで、CO₂の排出量は1,010 kgです。



RX-2G

この製品はピアノメーカーでは世界で初めてISO14001を取得したカワイ竜洋工場で作成しています

タイプIII環境ラベルの開示

カワイでは製品環境情報の開示の手段として国際的な環境ラベル方式「タイプIII型」を2001年に社団法人産業環境管理協会の定めたJEMAIプログラムに沿った情報で開示しました。現在は楽器業界においてワーキンググループが発足した段階で、いつでも参画できる体制を整えています。



グランドピアノ RX-2G のLCAデータ

ライフサイクルステージ		単位	製造		使用	輸送	合計
入出力項目			素材	製品			
消費エネルギー		MJ	4,760	11,300	0	44.8	16,105
消費 負荷	資源枯渇	エネルギー(原油)	kg	94.8			310.2
		資源枯渇(鉄鉱石)	kg	2,227		0.996	2,227
環境 排出	大気へ	温暖化(CO ₂)	kg	313	693.0		1,009.2
		酸性化(SO ₂)	kg	0.418	1.486	0.038	1.942
負荷	水域へ	富栄養化(リン酸塩)	kg		0.011		0.011

木材調達

ピアノの心臓とも言われる響板には、厳選されたアラスカのスプルースが使われます。樹齢150～400年、高さが60mにも達する針葉樹の大木です。ピアノの響板には地上6～20mの部分で木目がまっすぐかつ「ふし」のない所しか使えません。このような貴重な森林資源の保護を念頭に野生動物の保護も含め、企業としてグリーン調達に取り組んできました。

木材調達におけるカワイのポリシーを明確化するためガイドラインを開示すべきであるとの社長指示に基づき、現在、地球環境委員会が明文化中です。

ガイドライン検討案

- ・高い保全価値を持ちそれが育かされている森林からの木材は調達しません
- ・植林木や二次材材あるいはMDF等再利用材を調達します
- ・現地の法を順守しての生産材であることを確認の上、木材を調達します。等

グリーン調達

カワイでは調達・購入にあたり地球環境委員会環境方針に基づき、必要な資源の調達・購入に際しては、より環境負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入する『グリーン調達』にグループ全体で積極的に取り組んでいます。

グリーン購入法やグリーン購入ネットワーク(GPN)の基本原則に準じグリーン調達を推進し、環境負荷を総合的に低減し、地球環境の保全と循環型社会構築に積極的かつ継続的に貢献するよう活動しています。

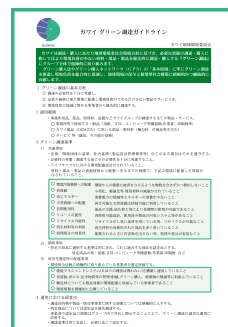
調達基準の共通事項を次のように定めています。

ライフサイクルにおける環境配慮設計がされていること。
下記の環境に配慮した取組がなされていること
環境汚染物質への配慮/省資源/省エネルギー
天然資源への配慮/長期使用性/リユース可能性
リサイクル可能性/再生材料等の利用
処理処分の容易性



アラスカのスプルース
樹齢 250～260年

グリーン調達の基本方針や適用範囲、調達基準、サプライヤーに対する配慮事項などを定めています。
またこのガイドラインに基づいて文具類等の調達ガイドラインも別に策定されています。

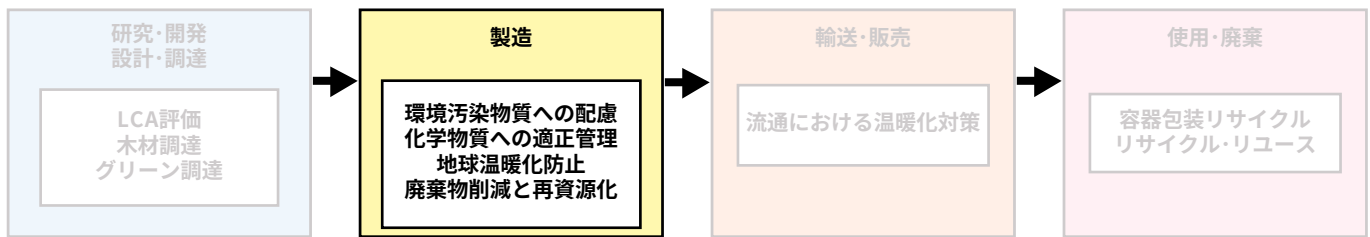


http://www.kawai.co.jp/kankyo/pdf/guideline/kg_20040130.pdf

またサプライヤー選定時の配慮事項も次のよう定め購買部門でお取引先に対し対応をお願いしています

- ・環境マネジメントシステムを構築し運用していること
- ・省資源、省エネ、化学物質管理、グリーン購入等への取組
- ・梱包材についても環境配慮していること
- ・環境情報を積極的に公開していること

製品・サービスにおける環境配慮



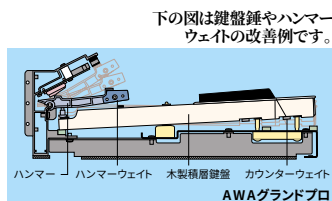
製造

環境汚染物質への配慮

欧州のWEEE/RoHS指令など電気電子機器に使用する有害な化学物質の規制がグローバル化する中、カワイではワーキンググループを立ち上げRoHS指令への対応を2006年2月までに完了するよう活動中です。またWEEEについては2005年7月末までにシンボルマークの添付について対応します。

RoHS指令 2006年7月からEU加盟国では電気電子製品等へ鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、臭素系難燃剤の使用が原則的に禁止されます。

WEEE指令 EUで公布された使用済み電気電子機器のリサイクルに関する指令。

電気・電子楽器への対応例
鍵盤用鉛の代替

なおRoHS指令においてアコースティックピアノは今のところ対象外ですがUPについては鍵盤用鉛を鉛から鉄に変更しつつあります。GPもいつでも対応できるよう鉛の代替材を開発しました。

また、電子ピアノや電子オルガンの外装化粧材には塩素樹脂を含む塩化ビニルシートが使われていましたが焼却時にダイオキシンを発生する恐れがあることからカワイでは1999年から外装化粧材には塩ビシートを全廃し、安全なオレフィン系の化粧シートに切り替えました。



木質系材料には低ホルムアルデヒド使用の材料を使っています。また化粧シートはオレフィン系の化粧シートを使用しています。

化学物質への適正管理

カワイではPRTR法に基づき各サイト毎にPRTR法対象物質の排出・移動量を算出し、報告しています。

2004年度は前年度に比べ取扱量で26ton、排出量で1.8ton増加となりました。今後も対象物質を含まない塗料への代替、塗装方法の改善など化学物質の排出を抑える努力を続けます。

大気への排出は22.5%でその大部分は塗料成分のトルエンが占めています。廃棄物としての移動量は4.1%でした。又再資源化されたものが32.1%あります。

PRTR対象物質結果 (2004年度 単位: [ton])

No.	第1種指定化学物質	取扱量		排出量 大気	移動量 廃棄物	再資源
		2003	2004			
63	キシレン	7.1	10.1	10.1		
	舞阪		1.46	1.46		
	竜洋		4.29	4.29		
	中郡		4.30	4.30		
145	ジクロロメタン	2.3	2.0	0.1		1.9
177	スチレン	63.0	*75.7	1.6	5.0	
	舞阪		35.36	0.83	2.81	
	竜洋		12.01	0.32	1.16	
	中郡		28.31	0.42	1.06	
200	テトラクロロエチレン	42.7	54.6	2.7		51.9
	浜松		27.94	1.40		26.54
	松本		26.70	1.34		25.37
227	トルエン	26.3	25.2	23.3	1.9	
	舞阪		3.37	3.14	0.23	
	竜洋		17.44	16.23	1.21	
	中郡		4.40	3.92	0.48	
	合計	141.4	167.6	37.7	7.0	53.8
			100.0%	22.5%	4.1%	32.1%

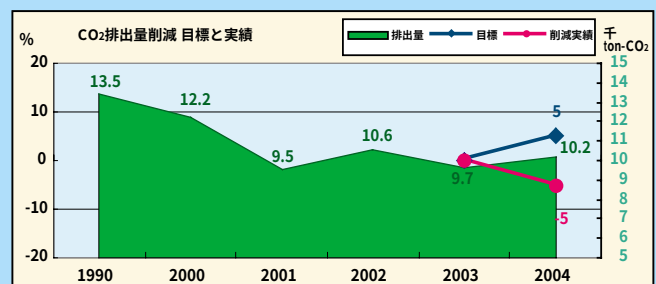
*大部分のスチレンはモノマーからポリマーに変わっています。

PCB廃棄物の保管

ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法(PCB特措法)に基づき保管状況等届出書を県知事宛提出しています。現在対象となる高圧コンデンサ31台を7サイトで保管しています。静岡県で保管されている高圧コンデンサなどは愛知県・岐阜県・三重県のものとともに豊田市のPCB処理施設(平成17年9月から始動)に持ち込まれ、化学的に分解して無害化し処分される予定です。

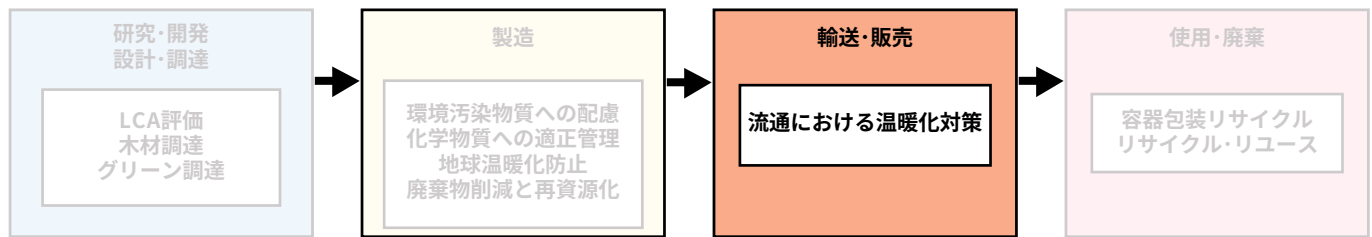
地球温暖化防止への取組

カワイでは地球温暖化対策を環境経営の重点項目と位置付け、工場や事務所のエネルギー使用によるCO₂の排出や物流によるCO₂の排出削減を目的・目標に掲げ活動しています。当年度は目的を2006年度までに15%削減する計画の初年度で5%の削減を目標に活動しましたが猛暑などにより結果的に5.4%519 ton-CO₂の排出増となりました。しかしながら京都議定書による基準年の1990年度は13,464トンを出していたので当年度は1990年度に対し24%削減できていますので、議定書に定めた6%削減については大幅に達成していることになります。



	単位	1990	2000	2001	2002	2003(基準)	2004
排出量	ton-CO ₂	13,464	12,249	9,547	10,588	9,673	10,192

製品・サービスにおける環境配慮



輸送・販売

流通における温暖化対策

2004年度の国内輸送量は1,346万トンキロ(内モーダルシフトによる列車輸送は839万トンキロ)で基準年比(前年比)12%の削減となりました。この要因は効果的な積載方法の実施やコンテナ積み込みにおける梱包箱サイズの適正化などがあります。

CO₂排出量に換算しますと633 ton-CO₂で、基準年比12%、86ton-CO₂の削減が図れました。(基準年は2003年)

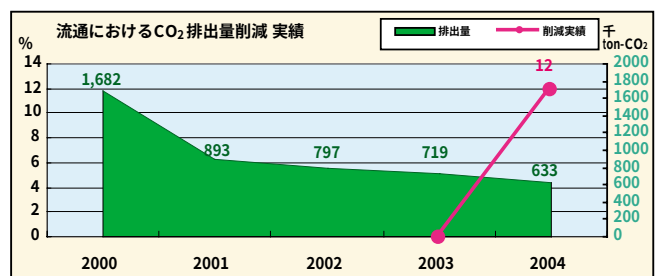


輸送手段は大型トラックが主体ですが、600kmを超える長距離輸送には、モーダルシフトによる列車コンテナや効果的なバン積みによる輸送(主に輸出品の国内搬送)も活用し負荷の低減を図っています。



輸出モデルの海外出荷VAN積み

アメリカ向け工場VANNING計画書に基づきトラックコンテナ内をむだなく積んでいます。



	単位	2000	2001	2002	2003	2004
計	万トンキロ	2,067	1,933	1,716	1,550	1,346
1次	万トンキロ	1,979	1,851	1,642	1,482	1,288
2次	万トンキロ	88	82	74	68	58
排出量	ton-CO ₂	1,682	893	797	719	633
1次	ton-CO ₂	1,534	754	672	604	535
2次	ton-CO ₂	148	139	125	115	98
削減実績	削減%				基準年	12

また「物流ルートの見直し」等による輸送効率を高める施策や梱包材再利用等の「物流費の削減」を、今後も続けていきます。



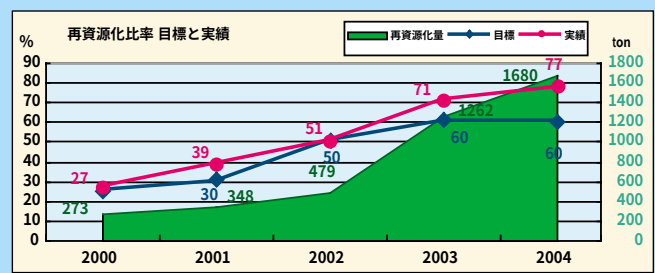
国内出荷は梱包材を再利用

グランドピアノにはふとんを使用しています。



廃棄物削減と再資源化

廃棄物の削減と徹底した分別回収による再資源化を図ることが重要な使命と認識し活動しています。2003年度から大気汚染の防止、ダイオキシン対策特別措置法の順守を目的に木屑ボイラー・焼却炉の廃止があり今まで燃料としてサーマルリサイクルされていた木屑や木粉が廃棄物扱いとなったため廃棄物排出量が大幅に増加しました。しかしながら企業努力により木屑等は全て再資源化(製紙原料、ボード原料、燃料用他)しておりその比率も77%と目標値の60%を大幅に越えることができました。



	単位	2000	2001	2002	2003	2004
再資源化量	ton	273	348	479	1,262	1,680
排出量	ton	1,022	894	942	1,774	2,181

カワイグループは、企業活動が環境に及ぼす影響を認識しています。
事業が環境に与える負荷を数値で把握することが活動の第一歩。

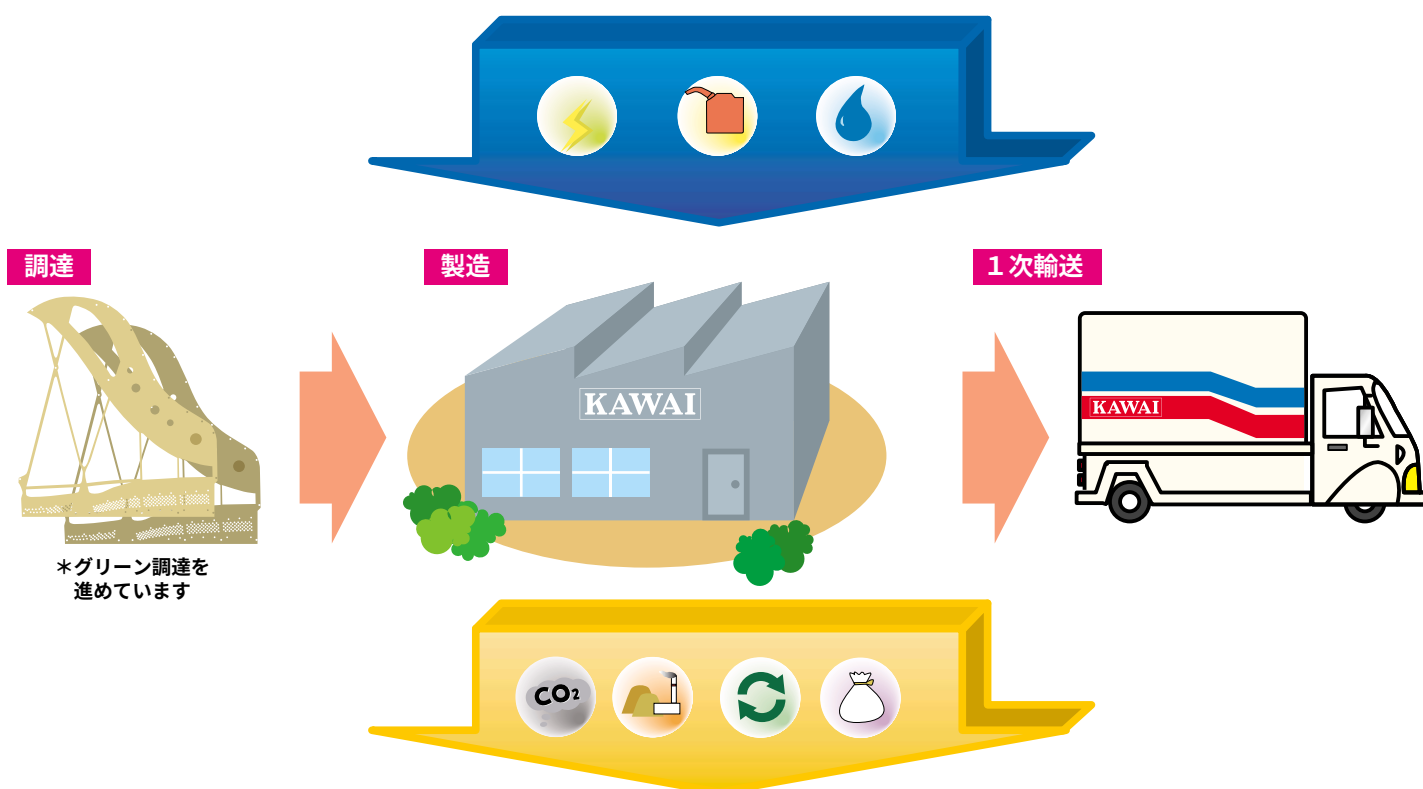
環境パフォーマンス

環境影響収支

INPUT		削減率						
	単位	1990(参考)	2001	2002	2003(基準年)	2004	90年比	基準年比
電気	GJ	235,040	182,860	197,599	165,887	173,115	29.4%	-4.4%
燃料	GJ	44,162	25,671	33,363	38,382	41,190	13.1%	-7.3%
水	千m ³	4,327	392	415	277	227	93.6%	18.1%
化学物質	ton		137	165	141	168		-19.1%

マイナスは増加を表わす

電気	工場、本社などで使用する電力会社からの購入電力
燃料	A重油、LPG、灯油、軽油、ガソリン（車両燃料用含む）
水	井水、水道水、工業用水
化学物質	PRTR対象物質



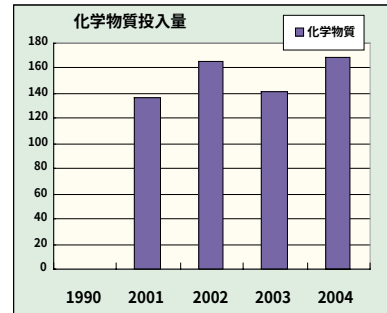
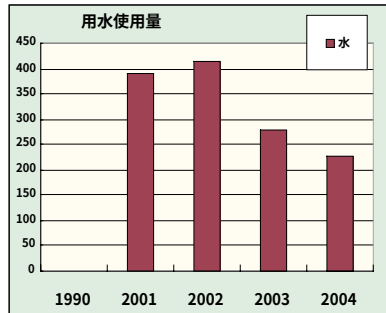
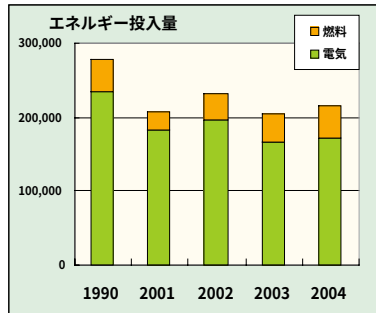
*グリーン調達を進めています

OUTPUT		削減率						
	単位	1990(参考)	2001	2002	2003(基準年)	2004	90年比	基準年比
CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	13,464	9,547	10,588	9,673	10,192	24.3%	-5.4%
化学物質	ton		40	49	39	45		-15.4%
廃棄物	ton	1,320	894	942	1,774	2,181	-65.2%	-22.9%
産業廃棄物	ton	1,320	832	937	1,770	2,176	-64.9%	-22.9%
焼却埋立	ton	1,017	484	458	508	496	51.2%	2.3%
再資源化	ton	303	348	479	1,262	1,680	-454.5%	-33.1%
一般廃棄物	ton		62	5.3	3.6	4.3		-19.4%

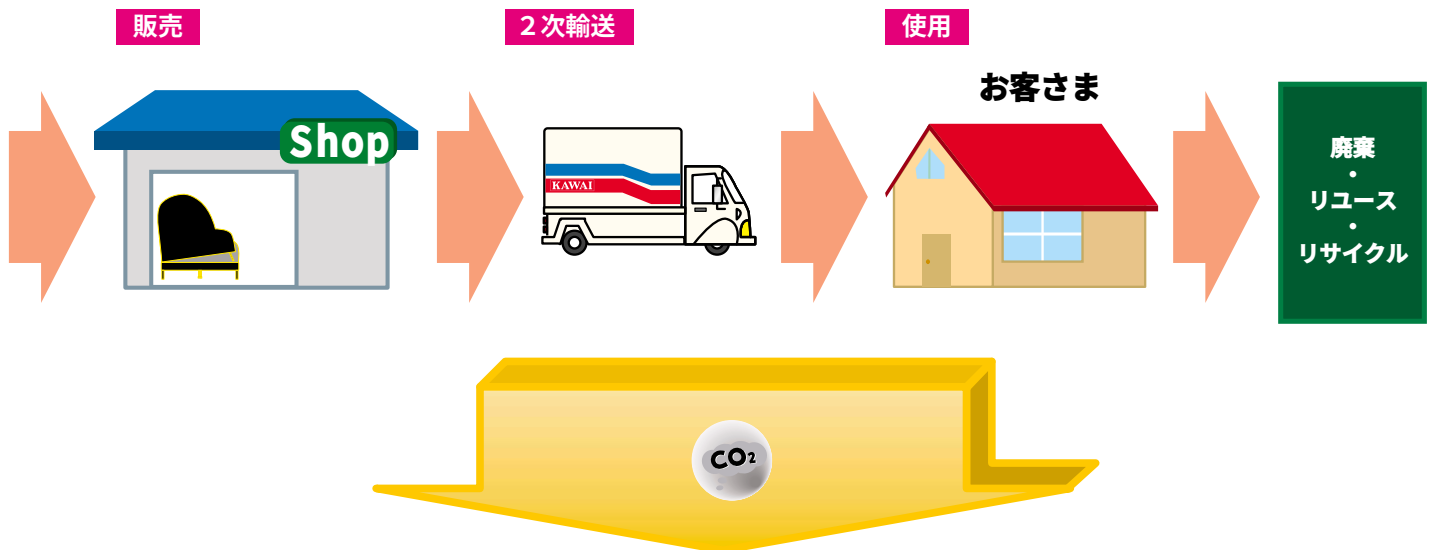
マイナスは増加を表わす

CO ₂ 排出量	電気、燃料、水の使用及び廃棄物の処理に伴って発生する二酸化炭素
廃棄物	産業廃棄物と一般廃棄物の総和
産業廃棄物	事業活動に伴って生じた廃棄物のうち廃掃法で定める廃棄物
焼却・埋立	再資源化できなかった廃棄物
再資源化	リユース・リサイクル等再使用、再利用した廃棄物
一般廃棄物	事業活動に伴って生じた廃棄物のうち上記以外の廃棄物

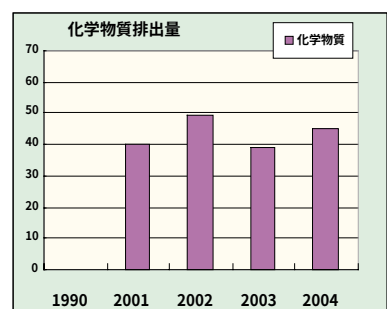
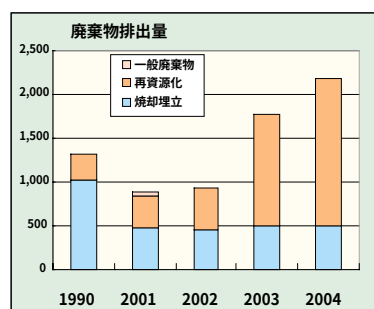
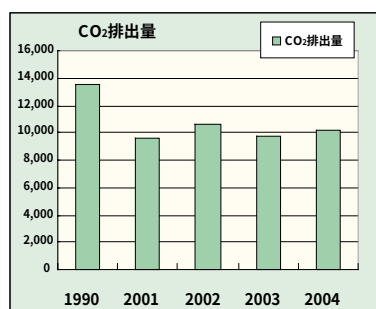
CO ₂ 排出量	物流輸送に伴う二酸化炭素排出量
1次輸送	工場から全国の集積倉庫まで10トントラック使用、ピアノ混載
2次輸送	集積倉庫から顧客先まで2トントラック、距離20km、ピアノ1台納品



基準年の2003年に比べ水は18.1%削減できたものの電気4.4%、燃料は7.3%の増加となりました。これは夏の異常気象や、今まで木屑を燃料としていたボイラーや焼却炉の見直しに伴い燃料転換を余儀なくされたため重油使用量が増加したことなどが要因です。工場統廃合などインフラの整備により京都議定書の基準年(1990年)に比べ電気 29.4%、燃料 13.1%水はなんと93.6%の削減が図れました。化石燃料の削減を今後の活動の重要ポイントとして捉えています。



OUTPUT							削減率	
	単位	1990(参考)	2001	2002	2003(基準年)	2004	90年比	基準年比
CO ₂ 排出量	ton-CO ₂		893	797	719	633		12.0%
輸送 計	万トンキロ		1,933	1,716	1,550	1,346		13.2%
1次輸送	万トンキロ		1,851	1,642	1,482	1,288		13.1%
2次輸送	万トンキロ		82	74	68	58		14.7%



CO₂の排出量は10,192 ton-CO₂で、90年比は24.3%の削減が図れたものの、基準年比(前年比) 5.4%の増加に終わりました。次年度は一層の努力を続け目標値の達成に努めます。なお廃棄物の増加量の大半は木屑です。

カワイ舞阪工場で行っている環境パフォーマンスの実績を報告します。

環境パフォーマンス

サイトでの取組例

パフォーマンスの向上

カワイ環境方針でも謳いましたように環境負荷の低減のみでなく、有益な側面を発掘し推進することを目標に設定し各サイトではパフォーマンスの向上を図っています。

前年の報告書でカワイグループの舞阪工場における環境マネジメント中期計画書をご紹介しましたので今年度はその経過について報告します。工場独自の文言・ルールがありますので意味不明の箇所があるかとは思いますが、ご了承願います。

舞阪工場 環境マネジメント中期計画書

環境方針	環境側面	目的	推進 部門	2004 目標 具体的手段	2004 実績 (達成率)	2005 目標	2006 目的
環境配慮設計	製品	UP鍵盤鉛廃止器種の比率向上 比率を40%に拡大	技術	比率を20%に拡大 治工具類の整備施策により輸出器種を中心に計35器種まで拡大GP器種への拡大	仕様変更まで	30%	40%
	防音ルーム	防音ルームの設計・施行に伴う廃棄物削減 削減率20%	音響	10%削減 設計の見直し パネルサイズの共通化	28% (280%)	15%	-20%- 40%
製品リユース	使用済みピアノ	使用済みピアノの再生促進 再生率 97%	リサイクル	再生率 96% 解体ピアノ部品の活用 生地艶出し仕上の塗色変更 顧客からの声等情報の活用 検査表に元ずく検査の実施	100.0% (104%)	96%	97%
グリーン調達	購買	「カワイグリーン調達基準」に沿った事業所との取引 50%	購買	取引率15% 現状調査及び啓蒙活動 担当者教育 取引先との情報交換 EMS取得支援活動	28.6% (191%)	30%	50%
化学物質低減	塗料	環境対応型塗料への転換促進 転換対象塗料 7種類	塗装	3種類を転換 塗料メーカーからの情報収集 技術部との打合せ 溶剤系で試行、ライン化	計3種類 (100%)	計5種類	計7種類
廃棄物の抑制と3R	落し材	落し材の削減及び有効活用 総合歩留の向上 60% 再利用比率向上 30% 落し材の有効活用 廃棄量を全体で40%削減	木工 部品	歩留向上 55%、再利用率向上 23% 発生状況調査 出庫寸法の見直し 再生品への分別の拡大 35%削減 出庫寸法の見直し 再商品化(造形チップ) 加工不良の削減	58%,25% (105,108%) 39% (114%)	58%,27% 38%	60%,30% 40%
	廃棄物	海外梱包ダンボールの有効利用 再利用等使用量の5%削減 <2005年度からの計画>	包装	再利用化する梱包箱の特定 緩衝材の再利用検討・試行		2%	5%
		産業廃棄物の資源化率向上 資源化率を87%に向上	総括	資源化率85% 各方面からの情報収集 廃プラの資源化検討 フェルト屑の資源化	85.1% (100%)	86%	87%
廃棄物抑制	海外からの調達部材	海外調達部材の品質向上 不良率の30%削減		10%削減 現状把握 海外業者への環境啓蒙	9.4% (94%)	20%	30%
	製品	検査直し件数の削減による環境負荷の低減 直し件数 10%削減	仕上	5%削減 現状把握、原因追求、対策実施 調整不良削減	6% (120%)	7%	10%
温暖化防止	軽油	業務用トラックからの環境負荷の低減 燃料総使用量の削減 10.5%	流通	3.5%削減 エコドライブセルフチェック 車両別燃料表の掲示 燃費ボーダーライン設定 コンテナ輸送率アップ モーダルシフト推進	11.9% (339%)	-7%- 12.4%	-10.5%- 13.1%

*2003年の実績を基準として2006年を目的年としています。
具体的な手段につきましては一部を紹介しました。

環境法順守状況を自主管理基準値、測定結果とあわせて報告します。

環境パフォーマンス

法規制の順守

環境法規制 遵守状況

当社に関する主な環境法規制を下表に示します。順法への対応状況は内部監査で確認しています。

	環境法令	法の要求事項	順守状況	関連頁
大気	大気汚染防止法	ばい煙発生施設の設置届出	ボイラー等の設置届出済み	
大気	静岡県条例	粉じん特定施設の設置届出	吹付塗装設備等の設置届出済み	
水質	水質汚濁防止法	排水基準値の適用	自主管理基準値以下 *1	
水質	下水道法	排水基準値の適用	自主管理基準値以下 *2	
水質	浄化槽法	水質検査/保守点検/定期検査	基準値以下/実施済み	
騒音	騒音規制法	特定施設の設置届出 規制基準値の適用	空気圧縮機等の設置届出済み 自主管理基準値以下 *3	
振動	振動規制法	特定施設の設置届出 規制基準値の適用	空気圧縮機等の設置届出済み 自主管理基準値以下 *4	
悪臭	悪臭防止法	規制基準値の適用	自主管理基準値以下	
組織等	特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	公害防止管理者の選任/届出	該当工場にて届出済み	
組織等	工場立地法	特定工場の新設・変更の届出	該当工場にて届出済み	
廃棄物・化学物質	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の運搬と処分の資格業者への委託 産業廃棄物管理票	委託業者との契約の締結 マニフェストの管理・報告書	
廃棄物・化学物質	ポリ塩化ビフェニル(PCB)の適正な処理の促進に関する特別措置法	PCB廃棄物の確実かつ適正な処理の確保	PCB廃棄物の保管状況の報告	12
廃棄物・化学物質	特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)	特定化学物質の管理 排出量の把握及び届出	該当工場にて実施中 トルエン等の排出・移動量を報告済み	12
リサイクル	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(容器包装リサイクル法)	再商品化義務量の把握 識別表示の義務化	紙製及びプラスチック製の 容器包装量の把握 識別マークの表示	14
リサイクル	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)	分別解体と再資源化等の義務付け	該当工場にて実施	
土壌	土壌汚染対策法	特定有害化学物質を使用する特定施設がある工場に対し、施設廃止時に土壌汚染調査を実施	義務はないが自主的に土壌汚染調査を実施 *5	

自主管理基準値

		法令値 協定値 等	自主管理基準値		測定値	
			舞阪工場	竜洋工場	舞阪工場	竜洋工場
*1	工場排水				6月16日	5月18日
	pH	5.8～8.6	5.8～8.6	6.1～8.2	7.2	7.0
	SS	30ppm 以下	16ppm 以下	27ppm 以下	5.0	5.0
	BOD	20ppm 以下	13ppm 以下	18ppm 以下	1.2	1.0
*2	下水道				6月16日	
	温度	45℃ 未満	35℃ 未満		21.5℃	
	pH	5～9	5.2～8.8		7.3	
	n- ヘキサン	35ppm 以下	30ppm 以下		2.5	
	沃素消費量	220ppm 未満	110ppm 未満		37.2	
*3	境界線騒音				5月12日	11月29日
	昼	70 dB	69	63	59	58
	夜・早朝	65 dB	64	59		
	深夜	60 dB	59	54		
*4	境界線振動				6月 9日	9月20日
	昼	70 dB	65	63	44	41
	夜	65 dB	60	59		



*5



社員を大切にし、明るい企業をめざします。

組織で働く全ての人との関係

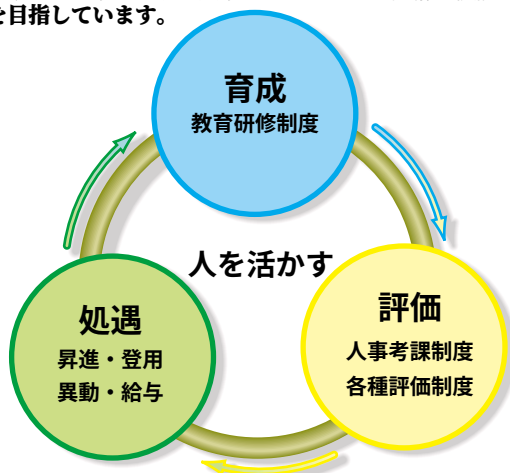
人事制度

カワイは生産から販売まで幅広い業務を行っています。そこで働く従業員一人一人が「やりがい」をもって、「能力」を発揮できるシステムを創り上げる事が「人事」の役割と考えています。そのためには、社員の適性能力・業務成果を、

- 公正に評価し（評価制度：人事考課など）
- 適正に処遇し（処遇制度：給与・異動など）
- 的確に育成する（教育研修制度）

ことを基本にしています。

そして、人事制度を個々の制度として捉えず、「人事」の3つの機能を連動させる事により、人事サイクルとして円滑に機能する職場環境を目指しています。



ここで重要なことは上司と部下のコミュニケーションであり、それを行う人事サイクルの中心となる制度が目標管理制度と自己申告制度です。

目標管理制度・自己申告制度

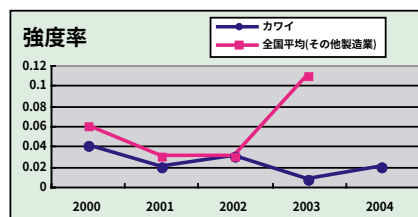
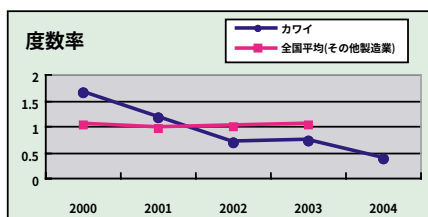
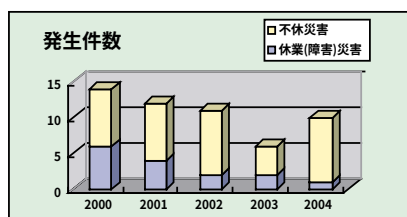
従業員の活力を最大限に発揮してもらうため、会社は明確な方針を示し全員のベクトルを合わせることが必要です。目標管理制度は半年毎に業務に関する話し合いを行い、具体的な目標をお互い確認しあう場です。また自己申告制度とは現在担当している業務に対して従業員の希望や勤務地などについてコミュニケーションし、一人ひとりのキャリア開発に役立てています。現在この制度をリニューアルした新人事制度の確立にむけて検討しています

各種休暇制度

カワイには年次有給休暇のほか各種の休暇制度があります。又、育児や介護などの休業制度も充実しています。

休暇の種類	休暇の内容
リフレッシュ休暇	勤続年毎に連続5日の休暇が付与されます
メモリアル休暇	従業員の誕生日に付与される特別休暇
HP 休暇	ヘルスプロモーション(健康増進)のために年1回付与される特別休暇。任意の日に取得できます。
積立休暇	時効消滅する年次有給休暇の2分の1が付与され、年々累積加算されます。(最高50日) ボランティア活動や自己啓発、介護等に使います。

労働災害統計



メンタルヘルス

カワイでは、厚生労働省が策定した「事業場における労働者の心の健康づくりのための指針」に基づき、4つのケア（「セルフケア」「ラインによるケア」「事業場内産業保健スタッフによるケア」「事業場外資源によるケア」）を継続的かつ計画的に、実施しています。

- 社内イントラネットを使ったメンタルヘルス情報の提供
 - 管理者へのメンタルヘルス研修
 - 産業医・保健師による個別相談
- などを実施して、全社レベルでメンタルヘルス対策に取り組んでいます。



労働安全衛生

カワイでは「安全で快適な職場環境の形成」と「健康保持増進活動の推進」を原点として次のような活動に取り組んでいます。

1 安全で快適な職場環境の形成

- 1)労働災害発生時に必ず労使で現認し、協力して再発防止対策に取り組んでいます。
- 2)ヒヤリハットを抽出し、KYT(危険予知訓練)等を通じて危険を先取りし、危険ゼロを目指します。
- 3)労使での職場パトロールにより不安全・不衛生状態をなくします。

2 健康保持増進活動の推進

健康保険組合と体育事業部が連携し健康保持増進活動の推進に取り組んでいます。また各種の補助金を支給しています。

- 1)健康管理・健康づくりに関する情報提供、奨励費の支給
歩け歩け運動：カワイヘルシーウォーキング1,500円/人補助
事業所単位にて実施する健康づくり事業への補助2,000円/人
- 2)定期健康診断・生活習慣病検診後のフォローアップ
人間ドック等への補助 30,000円/人など
主婦健康診断(被扶養者も対象)への補助 6,000円/人
- 3)毎月の健康相談

2004年度労働災害統計

2004年度の発生件数は10件で、過去最小であった前年より4件増加しました。休業災害は1件減少しています。

度数率、強度率ともに同業のその他製造業の全国平均を大幅に下回っています。

*度数率：労働時間100万時間あたりに発生する死傷者数

*強度率：労働時間1000時間あたりの災害によって失われる労働損失日数

お客様の満足を第一に商品・サービスを提供します。

お客様との関係

品質に対する取組

◎カワイQSS

お客様との相談窓口をカワイQSS(Quick Service Station)と名づけ誠実な対応と迅速な対応を行うべく1971年よりその組織を発足させ活動しています。カワイQSS組織は楽器事業本部業務部に本部を置き各支社に支部を配置しカワイのお客様相談窓口としての役割を果たしています。

お客様からの苦情対応、相談の受付、関係行政機関、各種消費者団体との対応や、PL法など消費者関連法規に対し怠ることのないように活動しています。

連絡先：QSS事務局 TEL:053-457-1311

◎調律サービス室

お客様のピアノの主治医「調律師」の技術集団

「ピアノは生きています」というと驚かれるでしょうが、ピアノには木材・羊毛・皮革など多くの天然素材が使われています。これらの材料はとても敏感で、温度や湿度の影響をまともに受けてしまうのです。またピアノの大部分を占める木材は常に呼吸をしている、まさに「生命体」なのです。そしてピアノほどデリケートなメカニズムを持つ楽器は他に無いとまで言われています。そこで私達が健康管理をするようにピアノにも「調律」という名のメディカルチェックが必要なのです。カワイの調律師たちは「カワイテクニカルセンター」での厳しい訓練を受けた技術者で、ピアノの主治医として、ピアノを常にベストコンディションに保つためのケアをしています。

●ピアノの部品は磨耗・消耗・劣化をします。また摩擦部分での静電気のいたずらも見逃せません。

次のような症状があなたのピアノにあったら下記までご連絡下さい。

- 鍵盤（タッチ）が重くなった気がする
- ピアノを弾いていて内部から雑音がある
- 音量のコントロールがうまく出来なくなった
- 一度しか弾かないのに2度打ちをすることがある
- トリルで音が抜けたり、出来なかったりする
- 以前にくらべ音量・音色が変わった気がする

様々な気になる症状があらわれたならば一度調律師に見てもらいましょう。簡単な調整、整調で快適になる場合もありますし、部品の交換等、早期に修理をした方が良い場合があります。ピアノの部品は複雑に運動しているため別の関連する部品まで傷める事になりかねません。



連絡先：調律サービス室 TEL:053-457-1253

ホームページの充実

◎カワイショッピングプラザ

国内で発売中の楽譜から輸入楽譜まで豊富に取り扱っており、特にカワイ出版の刊行する出版物においては、各商品の詳しい情報や表紙画像などもご覧いただけますので、じっくりと商品を選定することが出来ます。お目当ての商品は左の目録メニューから階層を追って探したり、ページの上にある検索機能を使って探したりでき、その場でご注文いただけます。

また、絵本や楽書も取り扱っておりますので、お子さまや友達へのプレゼントとしてご利用いただけます。



<http://www.kawai.co.jp/shopping/>

◎防音室(ナサール)のホームページがぐ～んと機能up!



<http://www.kawai-os.co.jp/nasal/>

気持ちよくピアノを弾くには防音だけでなく自然な反響音が重要です。詳しくは、まずホームページをご覧ください。

人にやさしい音環境「ナサール」

音を外にももらさない防音空間から、より良い音環境を楽しむ「創快空間」へ「ナサール」は音を知り尽くしたカワイならではの高度な音響技術から生まれた新時代の防音・音響システムルームです。優れた遮音性能と音響性能そして卓越した木工技術を生かした内装・インテリアにより、理想的な音環境を実現しました。簡単組立て低コストの「ユニットタイプ」から自由設計の「オーダータイプ」まで幅広いニーズに対応しています。

無料診断
無料見積
実施中

お気軽にお問合せください。
全国無料のフリーダイヤル
音の専門家が、責任をもってお応えします。
安心しておまかせください。

連絡先：株式会社カワイ音響システムTEL: 0120-010-994

携帯やパソコンから音楽用語を無料で検索できます

カワイが10月に開設した「意美音(イミオン)」はインターネットに接続可能な携帯電話やパソコンからいつでも利用できる、便利な音楽辞書サイトです。キーワードを入力するだけで、音楽の基礎用語から専門用語まで約1250語(開設当初)もの用語から検索でき、しかもその分野は音楽用語、音楽史、理論……など多岐にわたります。また音楽用語の検索のほか、収録用語をもとにした三択クイズも楽しめ、全国ランキングにも登録されています。



<http://imion.jp/>

音楽文化の担い手として・・・

社会貢献活動

さらに広く、より深く音楽文化を醸成するために、カワイは楽器メーカーとして優れたハードづくりを追求するとともに音楽文化の育成やレベルアップといったソフトに関する活動を、長年続けています。音楽から生まれる感動をさらに多くの人へ、より深く伝えたい。……カワイの熱き想いは、さまざまな音楽シーンで着実に実を結んでいます。

◎文化・芸術への貢献

カワイ音楽振興会	日本フーゴ・ヴォルフ協会
カワイコンサート	名古屋フィルハーモニー交響楽団
日本ショパン協会	日本シマノフスキー協会 など

●カワイ音楽振興会

日本の音楽文化の普及と向上を目指して1963年に設立。海外の著名な演奏家、教育指導者を数多く招聘し、リサイタルを開催するほか、公開講座、個人レッスン、講演会など多彩な催しを企画実施しています。

●カワイコンサート

日本中のより多くの方々によりよい生の音楽を。このポリシーのもと、1971年からスタートした「カワイコンサート」は既に全国各地で2千数百回以上におよぶ公演を実施しました。国際的なピアニストから新進気鋭の若手まで多彩な演奏家を招き音楽のすばらしさを広めています。又新人にとっては一流ピアニストへの登竜門として絶好の舞台となっています。

●日本ショパン協会への支援

ポーランドのショパン協会との交流の元に設立された日本ショパン協会の活動を多角的に支援。音楽交流、ショパン国際ピアノコンクールへの審査員派遣、参加者オーディション等の活動を行っています。また年間最も優れたショパン作品の演奏をしたピアニストに対し日本ショパン協会賞を送っています。

●日本フーゴ・ヴォルフ協会への支援

歌曲の作曲家フーゴ・ヴォルフ。彼の作品を寄り多くの音楽ファンに知ってもらうために設立された協会をバックアップ。例会、研究会活動のほかヴォルフに関する資料・楽譜の収集、公開などに積極的に取り組んでいます。



カワイは長年にわたり名古屋フィルハーモニー交響楽団、日本シマノフスキー協会への支援活動も続けています。

連絡先：楽器事業本部 音楽教育部 TEL:053-457-1322

◎教育・教室としての貢献

カワイ音楽教室	カワイミュージックスクール
カワイこども英語教室	カワイ音楽学園
カワイ絵画造形教室	カワイピアノテクニカルセンター
カワイ体育教室	いきいき健康音楽 など

●カワイ音楽教室

1956年発足。全国各地に7,700余の教室があり、30万人を超える生徒が通っています。年齢やレベルに合わせて多彩なコースが設定され、音楽の基礎能力を身に付ける導入過程からプロをめざす専門過程まで体系的なレッスンが受けられます。

カワイ音楽教室

<http://www.kawai.co.jp/school/music/>

カワイこども英語教室

<http://www.kawai.co.jp/school/english/>

カワイリズムミックス教室へようこそ！

<http://www.kawai.co.jp/school/eurhythmics/>

カワイ絵画造形教室

<http://www.kawai.co.jp/school/creation/>

●カワイミュージックスクール

平均寿命の伸張に伴い、中高年の人々の生涯学習や余暇活動に対する関心が年々高まっています。カワイでは、こうした社会ニーズに対応し、ピアノ、フルート、バイオリン、大正琴、日本唱歌



KAWAI
MUSIC
SCHOOL

カワイミュージックスクールを
わかりやすくご案内致します。

など、40種以上に及ぶ大人のための音楽教室を運営しています。いずれも自分の好きな曲をその人のレベルに合った内容で受講でき、またレッスンの回数や形式が選択できるなど、個性に合ったレッスンが受けられることから、多くの受講者を集めています。

<http://www.kawai.co.jp/school/popular/>

●カワイ体育教室

1967年の開設以来「心とからだのハーモニー」をテーマに多様な体育教室を実践。2歳コース、幼児・児童コース、スポーツコース及び生涯体育の理念の基健康づくりを支援する健康コースを設置しています。



<http://www.kawai.co.jp/school/physical/>

●カワイ音楽学園

カワイ音楽教室講師として即戦力となる専門的な技術を習得し、さらには音楽教育者としての総合的資質を高めていく教育機関です。1年間集中的に総合音楽学習を行い音楽教室講師として必要な知識と技術を身に付けます。実践の場で得られた体験、思考、思想がここで学ぶ人たちの財産でありカワイ音楽学園40年の歴史となっています。

カワイ音楽学園

<http://www.kawai.co.jp/gakuen/>



●カワイピアノテクニカルセンター

昭和36年創立以来、すぐれたピアノ調律技術者を数多く組織的に育て、世に送り出してきました。一年という短期間で、しかも多くの実力あるプロのピアノ調律技術者を育てています。卒業生は国内のコンサート調律はもとより、海外のアフターサービス等に広く活躍しており、我が国の音楽文化の振興に大いに貢献しています。



カワイピアノテクニカルセンター
<http://www.kawai.co.jp/sc/tcenter.html>

多くの皆様方とのコミュニケーションを大事にします。
より良い信頼関係の確保に努めます。

環境コミュニケーション

情報発信

情報発信

ステークホルダーの皆様へ、カワイの環境等への取組みの内容や環境パフォーマンスの成果、環境への配慮などを広く知っていただくため、環境報告書の継続的発行やインターネットによる情報の開示等を始めとして、地域にお住まいの皆様方、NPO・NGOの方々とより良い信頼関係の確保、双方向のコミュニケーションの拡大に努めます。



ホームページでの開示

カワイのホームページでは製品情報、会社情報等と同様トップページから「環境への取り組み」に進んでいただけます。



<http://www.kawai.co.jp/>

<http://www.kawai.co.jp/kankyō/>

介護予防教室を全面サポート

高齢者の介護予防を目的に浜松市舞阪町が実施している「元氣はつらつ教室」。町内に住む高齢者が筋肉トレーニングやステップ運動などに取り組んでいます。カワイでは体育教室で培ったノウハウを基に筑波大学と共同でトレーニングプログラムを作成。さらにカワイ体育教室のインストラクターが参加者の指導にあたるなど「元氣はつらつ教室」の運営を全面にサポートしています。また筋力トレーニングにはカワイ体育事業部が開発した軽量ウェイトを採用し高齢者にも好評を得ています。



連絡先:体育事業部 健康増進課 TEL:053-457-1284

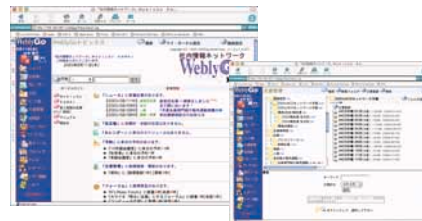
環境報告書の継続的発行

カワイでは2001年より毎年、環境報告書を発行しています。2003年度からは社会性側面についても記載しました。多くの皆様に持続可能な社会の実現に向けたカワイの活動を知っていただくよう情報提供を続けます。



社内イントラネット環境情報

環境推進部門を始め、各サイト、関係会社などで保有する環境情報を従業員がアクセスできるカワイのイントラネット「情報ネットワークWebly Go」にて共有しています。これにより最近の環境法規制の動向、負荷低減活動の状況などさまざまな情報を得たり、環境教育を受けたりすることができます。



カワイの建築音響技術に反響続々

日本音響学会の研究発表会は、全国の「音響」に関する研究発表の場として開催され多数の大学や研究所、企業が参加しています。2003年秋季研究発表会において、カワイは建築音響の部門で「体育館を多目的に使用するための音響設計」と題し、自社開発の「吸音パネル」を用いた体育館の音響改修工事の事例を発表しました。残響を抑えかつ低音域における吸音効果と施行も簡単なハニカムコアを使った吸音パネルは体育館などの大空間の多目的化を容易にする吸音材として注目を集めカワイの音響技術の先進性をアピールすることとなりました。



連絡先:カワイ音響システム TEL:053-596-2630

いきいき健康音楽

高齢化社会を迎え、中高年以上の人々が心身とも元気に過ごして頂けるよう、平成8年に河合楽器は高齢者向けの音楽活動を開始しました。

「いきいき健康音楽」は、あらゆる高齢者の方々に、音楽の楽しさを体験していただき、心身の活性化と向上、痴呆の予防等を目指し、健康で豊かな毎日を過ごしていただけるよう援助するものです。平成15年よりカワイ音楽教室講師を対象に、「いきいき健康音楽」の指導者養成を開始、現在では指導者としての教育を受けた講師により、デイサービス・老人ホーム等の高齢者施設で定期的に実施しています。



連絡先:いきいき健康音楽 TEL:053-457-1366

カワイ音楽療法セミナーについて

音楽療法の「国家資格化」を日本音楽療法学会が目指している中でカワイは音楽療法の専門講師をお招きし、毎年「カワイ音楽療法セミナー」を開催しています。

各地から音楽教室講師、音楽療法士、福祉施設や病院の職員、幼稚園・小中学校・養護学校の教諭、学生等多方面の方が受講され好評をいただいています。受講者からはセミナーの継続を希望する声も多く、1回目から参加しているリピーターの方もいます。音楽療法士資格取得の気運が高まる中、より質の良い「カワイ音楽療法セミナー」を今後も目指していきたいと思っています。



連絡先:カワイ音楽療法セミナー事務局 TEL:053-457-1366

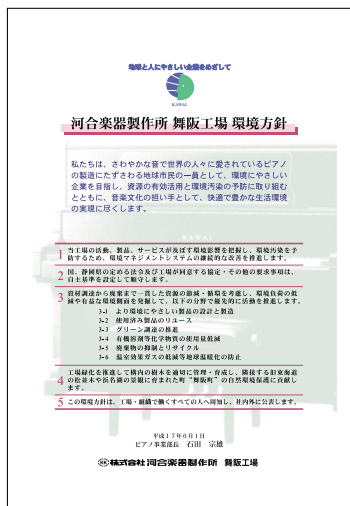
環境コミュニケーション

地域活動への参画

環境保護活動への参加

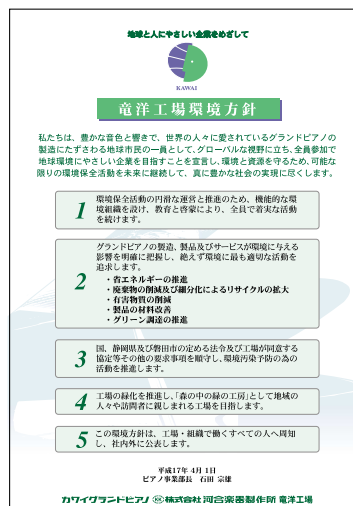
各サイトそれぞれにおいて、地域活動へ参画しています。環境方針に即した活動を展開することにより、多くのステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図っています。

舞阪工場



舞阪工場の環境方針の一節に「……、隣接する旧東海道の松並木や浜名湖の景観に育まれた町“舞阪町”の自然環境保護に貢献します」とあります。「浜名湖クリーン作戦」が今年度は2004.6.13に実施されました。浜名湖沿岸市町村にとって6月の環境月間の定番行事として恒例化しています。

竜洋工場



地域の学校の環境教育の一環としてなど、竜洋工場では多くの工場見学者を受け入れています。2001年度はその数も800人を超える盛況さでありましたが、環境ブームも一段落となった今年度は、環境に特化した見学は14団体 477名でした。その他の目的を含め見学者総数は5000人を超えています。



2004.4.23には「小さな親切」運動に参画しました。この運動は旧東海道松並木のクリーン作戦として、毎年展開しており、今年度も多くの有志が家族ついでに参加しトラック一杯の廃棄物を集めました。



旧東海道松並木
舞阪町指定文化財
江戸幕府が1604年に街道の両側に松や杉を植えさせたことに始まる。1712年には道の両側に1,420本の松が植えられていた。現在700mにわたって大小340本の松並木が続いている。



日付	団体名	人数
2004.4.15	全国経済同友会	11
2004.5.17	加賀商工会議所	16
2004.5.18	天竜林業高校	40
2004.6.14	奈良県磯城郡三宅町商工会	12
2004.6.21	森町消費者クラブ	35
2004.6.22	八十二銀行信楽会	28
2004.7.21	静岡県立浜松西高等学校	22
2004.7.23	静岡県立浜松城北工業高等学校PTA	30
2004.9.10	静岡県立農林大学浜北分校	10
2004.9.27	静岡県立小笠高等学校	42
2004.10.14	浜北市立北浜西小学校	62
2004.10.19	細江町立伊目小学校	26
2004.10.29	浜北市立赤佐小学校	113
2005.2.18	経済界ビジネススクール	30
計	14団体	477



メルヘン楽器

地球と人にやさしい企業をめざして

メルヘン楽器環境方針

私たちは、豊かな音色と情きで世界の人々に愛されている電子ピアノ、電子オルガン等の電子楽器の製造にたずさわる地球市民の一員として、全世界的な視野に立ち、かけがえのない地球を守るため、知識・技術・設備・経済的に可能な範囲で、積極的に取り組み、真に豊かな社会の実現に尽くします。

- 1 当社の事業活動、製品及びサービスの提供に与える影響を的確に把握し、汚染の予防に努め、環境負荷の低減や有害な環境汚染を抑制し軽減することを目標とするとともに、環境保護プログラムの継続的な改善を行っています。
〔環境負荷に配慮した「製品及びサービスの提供」に努めます。〕
〔企業、サービスなどの各部門において「地球環境化計画」「資源循環活用」「資源有効活用」に取り組めます。〕
- 2 必要な資源の調達・購入に際しては、より負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入します。〔グリーン調達〕
- 3 廃棄物発生に際しては、資源及び廃棄物の削減を徹底し、その他の資源事項を遵守することにより廃棄物削減に取り組めます。
- 4 さわやかな大田川の清流と山の緑に囲まれた「三木の森」に立地していることを認識し、地域の環境保全活動に積極的に参加します。
- 5 この環境方針を達成するため、積極的な環境目標を設け、環境目的・目標の設定、見直しを行い、全員で環境保全活動に取り組めます。
〔この環境方針は、当社で働く全ての社員のために働く全ての個人に「この環境方針は、当社で働く全ての社員のために働く全ての個人に」通知するとともに、一般の人にも開示します。〕

平成17年4月1日
メルヘン楽器株式会社
代表取締役社長 青田 徹
メルヘン楽器株式会社

メルヘン楽器では環境方針に基づき各種の環境保全活動に積極的に参加しており地域の人々とのコミュニケーションを図っています。
従前より毎月実施している地域環境活動の拡大キャンペーンとして環境月間には多くの参加者を得て工場周辺及び太田川河川敷の美化活動を実施しました。

カワイハイパーウッド

ハイパーウッドの立地している浜松市中郡町万斛西自治会では毎年8月の夏祭りの前に祭り屋台の通る道路の清掃活動をしています。
ハイパーウッドも活動に参加し、祭り参加の子どもたちがけがをしないよう道路にはみだした木の枝を剪定したり側溝の清掃を致しました。



カワイインドネシア

㈱カワイインドネシアでは西ジャワ州カラワン県KIC工業団地の自治会に協賛し隣接する5つの村に毎月ミルクを配り喜ばれています。

5歳以下の子供には予防接種と体重測定を行いベビーフードとしてミルクを、又小中学生にはノートを提供しています。



ジャカルタ市郊外
㈱カワイインドネシア
PT.Kawai Indonesia



報告書対象組織における環境負荷のトレンドを報告します 京都議定書基準年の1990年の負荷及び作業環境測定結果も記載しました。

環境負荷サイト別一覧

		1990	2001	2002	2003	2004	削減率	
		参考	基準年			基準年比		
竜洋工場		静岡県磐田市						
◎従業員数		233名	◎事業内容					
◎敷地面積		168,218m ²	グランドピアノ製造					
INPUT	電気	GJ	27,829	23,171	25,390	30,860	34,578	-12.0%
	燃料	GJ	3,906	3,192	3,618	12,982	16,223	-25.0%
	水	千m ³	1,568	35.7	42.5	33.4	36.2	-8.4%
	化学物質	ton		26.4	35.4	30.2	33.7	-11.6%
	キシレン	ton				3.37	4.29	
OUTPUT	スチレン	ton				8.86	12.01	
	トルエン	ton				17.93	17.44	
	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	1,618.4	1,183.0	1,300.2	2,213.6	2,610.6	-17.9%
	化学物質	ton		22.5	24.5	21.1	21.6	-2.4%
	廃棄物 焼却・埋立	ton	89.3	45.7	39.0	113.4	152.5	-34.5%
	廃棄物 再資源化	ton	9.0	21.7	34.5	266.0	418.1	-57.2%

(株)ワイハイパーウッド		静岡県浜松市中郡町					
◎従業員数		90名	◎事業内容				
◎敷地面積		15,103m ²	自動車内装部品製造				
INPUT	電気	GJ	13,348	9,021	9,233	9,775	13,906
	燃料	GJ	358	3,618	4,242	3,992	6,318
	水	千m ³	28.6	6.79	9.62	11.4	12.6
	化学物質	ton		25.70	30.40	24.1	37.0
	キシレン	ton				1.98	4.30
OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	1,176.6	701.6	745.1	694.8	1,034.3
	化学物質	ton		5.3	6.9	7.2	9.6
	廃棄物 焼却・埋立	ton	218.2	121.5	136.4	94.2	114.1
	廃棄物 再資源化	ton	32.3	10.4	14.7	14.1	12.4

K S K 浜松		静岡県浜松市新都田					
◎従業員数		55名	◎事業内容				
◎敷地面積		26,817m ²	金属部品製造				
INPUT	電気	GJ		20,867	24,749	26,418	28,781
	燃料	GJ		98.2	112.8	154.5	179.2
	水	千m ³		27.5	66.1	21.7	20.6
	化学物質	ton		18.6	21.3	25.6	27.9
	テトラクロロエチレン	ton				25.60	27.94
OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂		925.4	1,056.1	1,111.4	1,206.2
	化学物質	ton		0.9	1.1	1.3	1.4
	廃棄物 焼却・埋立	ton		74.3	84.9	57.2	53.9
	廃棄物 再資源化	ton		7.40	37.6	39.1	33.8

旧(株)ケーシービー		静岡県浜松市寺脇町					
◎従業員数		14名	◎事業内容				
◎敷地面積		1,744m ²	楽器金属部品製造				
INPUT	電気	GJ	4,152	6,195	5,872	3,035	2,977
	燃料	GJ		436	438	439	401
	水	千m ³	646	0.64	0.56	0.39	0.42
	化学物質	ton	1.45	3.50	2.50	2.30	2.00
	ジクロロメタン	ton				2.30	2.00
OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	233.8	288.2	281.1	154.4	150.8
	化学物質	ton		0.2	0.1	0.1	0.1
	廃棄物 焼却・埋立	ton	26.5	13.4	17.5	4.76	5.43
	廃棄物 再資源化	ton	0.0	1.92	3.20	0.30	2.00

舞阪工場		静岡県浜松市舞阪町					
◎従業員数		312名	◎事業内容				
◎敷地面積		114,150m ²	アップライトピアノ製造				
INPUT	電気	GJ	63,652	40,414	41,785	41,624	44,659
	燃料	GJ	24,426	9,740	11,636	11,219	11,264
	水	千m ³	1,762	61.7	44.9	52.4	49.2
	化学物質	ton		50.8	55.5	42.1	40.2
	キシレン	ton				1.72	1.46
OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	4,746.6	2,414.8	2,583.3	2,602.8	2,749.3
	化学物質	ton		28.5	28.3	20.0	7.4
	廃棄物 焼却・埋立	ton	348.0	119.7	93.1	176.2	153.6
	廃棄物 再資源化	ton	93.0	140.7	179.6	768.3	1,040.7

メルヘン楽器株式会社		静岡県周智郡森町					
◎従業員数		58名	◎事業内容				
◎敷地面積		11,583m ²	電子楽器製造				
INPUT	電気	GJ	3,534	3,082	3,205	2,931	3,143
	燃料	GJ	514	205.7	219.3	145.3	120.5
	水	千m ³	0.60	2.57	3.55	3.50	3.83
	化学物質	ton					
OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	182.5	145.0	151.7	133.7	144.1
	化学物質	ton					
	廃棄物 焼却・埋立	ton	7.3	6.5	6.8	5.7	5.8
	廃棄物 再資源化	ton	0.0	62.6	77.6	69.8	85.9

K S K 松本		長野県松本市					
◎従業員数		78名	◎事業内容				
◎敷地面積		14,612m ²	金属部品製造				
INPUT	電気	GJ	51,518	26,385	36,878	32,243	35,667
	燃料	GJ	6,820	4,889	8,587	6,133	5,448
	水	千m ³	42.1	77.8	87.4	91.4	92.0
	化学物質	ton		12.0	20.4	17.1	26.7
	テトラクロロエチレン	ton				17.10	26.70
OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	2,559.9	1,407.7	2,084.8	1,726.7	1,813.3
	化学物質	ton		0.6	1.0	0.8	1.3
	廃棄物 焼却・埋立	ton		11.2	7.1	9.1	9.0
	廃棄物 再資源化	ton		36.6	63.6	60.3	57.8

本社		静岡県浜松市寺島町					
◎従業員数		477名	◎事業内容				
◎敷地面積		6,784m ²	事務・研究開発				
INPUT	電気	GJ		9,680	9,594	9,104	9,404
	燃料	GJ		1,487	1,649	1,290	1,236
	水	千m ³		11.4	11.3	11.9	11.7
	化学物質	ton					
OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂		562.2	542.2	494.0	497.1
	化学物質	ton					
	廃棄物 焼却・埋立	ton		7.3	8.9	10.1	1.7
	廃棄物 再資源化	ton		32.3	30.0	28.9	29.0

作業環境測定結果	測定 単位 作業場所 延べ数	有機溶剤 管理区分				その他
		①	②	③	④	
竜洋工場	36	33	1	0	0	2
舞阪工場	49	44	1	0	0	4
ハイパーウッド	16	11	2	2	1	1
メルヘン楽器	2	2	0	0	0	0
K S K 浜松	8	6	2	0	0	0
K S K 松本	6	6	0	0	0	0
K C P	4	4	0	0	0	0
計	121	106	6	2	7	
	100.0%	87.6%	5.0%	1.7%	5.8%	

測定 単位 作業場所 延べ数	粉じん 管理区分			
	①	②	③	④
23	14	7	2	
29	29	0	0	
14	14	0	0	
7	7	0	0	
9	9	0	0	
6	6	0	0	
88	79	7	2	
100.0%	89.8%	8.0%	2.3%	

測定 単位 作業場所 延べ数	等価騒音 管理区分			
	①	②	③	④
28	2	11	15	
47	13	24	10	
8	2	6	0	
2	0	2	0	
4	0	4	0	
6	0	2	4	
4	0	3	1	
99	17	52	30	
100.0%	17.2%	52.5%	30.3%	

2004年度に測定した単位作業場所の延べ数であり問題のある単位作業場所の絶対数ではありません。
管理区分③：管理不十分で健康障害の危険がある。直ちに改善処置を講ずる必要がある。
管理区分②：直ちに判断を下すことはできない。定期的に測定を繰返して推移をみる。
管理区分①：管理状態が良好で健康障害の危険は少ない。良好な管理状態が持続するよう努力する。

カワイの事業沿革と環境への取組の歴史を 公害防止の時代、環境保全の時代、環境経営の時代に分け記載しました。

カワイグループのあゆみ

事業沿革

- 1927 河合小市 河合楽器研究所を創立。
ピアノの製造・販売を開始
- 1929 河合楽器製作所と改称
- 1935 合名会社河合楽器製作所と改組
- 1951 株式会社河合楽器製作所と改組
- 1955 河合小市 逝去 河合 滋 社長に就任
- 1955 旧版 経営の理念、私どもの主張 制定
- 1956 カワイ音楽教室を創設
- 1957 木材処理工場として新居工場完成
- 1961 ピアノ組立工場として舞阪工場完成
- 1963 アメリカにカワイアメリカコーポレーションを設立
- 1966 カワイ音楽教室中央講師養成所
(現 カワイ音楽学園) を創設
- 1967 カワイ体育教室を創設
- 1972 あさま山荘事件
- 1976 西ドイツにカワイドイツランド GmbH を設立
- 1979 西ドイツにカワイヨーロッパ GmbH を設立
- 1980 金属圧延加工のカワイ精密金属㈱を設立
- 1980 グランドピアノ専門工場の竜洋工場及び研究所完成
- 1985 梱包、配送業務の㈱カワイ流通サービスを設立
- 1988 アメリカにメディミュージックセンター Inc. を設立
- 1988 アメリカにカワイアメリカマニュファクチャリング Inc. を設立
- 1989 河合弘隆 社長に就任 河合 滋 会長に専任
- 1991 マレーシアにカワイアジアマニュファクチャリング SDN.BHD を設立
- 1996 新 経営の理念、行動指針 制定
- 1997 三木の里 C C オープン
- 1997 カワイ精密金属㈱浜松事業所 ISO9002 認証取得
- 2001 インドネシアに PT.カワイインドネシア を設立
- 2002 中国に河合貿易(上海)有限公司を設立
- 2002 カワイ倫理規範、倫理行動基準 制定
- 2004 中国に河合楽器(寧波)有限公司を設立

環境活動

- 1975 生産技術部内に公害課設置 カワイの環境元年
- 1978 生産本部 環境管理課に改めグループ全体の管理
- 1994 地球環境憲章制定 シンボルマーク決まる
- 1994 全社的な推審組織の地球環境委員会発足
- 1996 環境推進室 に名称変更
- 1997 竜洋工場で ISO14001 認証取得 楽器業界で世界初
- 1997 舞阪工場「静岡県労働基準局長 優良賞」受賞
- 1998 舞阪工場で ISO14001 認証取得
- 1998 竜洋工場「エネルギー管理優良工場」として
中部通商産業局長表彰
- 1999 メルヘン楽器で ISO14001 認証取得
- 2001 三木の里 C C で ISO14001 認証取得
- 2001 タイプIII環境ラベル「製品環境宣言」
JEMAI 開示
- 2001 舞阪工場「危険物優良事業所」表彰
- 2001 浜松環境フェア21へ出展
- 2001 東京ビッグサイト エコプロダクツ2001へ出展
- 2001 環境報告書2001 発行、環境会計導入
- 2002 三木の里「エネルギー管理優良工場」として中部
通商産業局長表彰 ゴルフ場として初の快挙
- 2002 環境報告書2002 発行
- 2002 環境経営学会「環境経営格付」評価
- 2002 焼却炉の廃止
- 2003 環境報告書2003発行
- 2003 静岡エコステージ研究会にて第三者レビュー
- 2003 工場統廃合によるインフラの整備
- 2003 木屑ボイラーの廃止
- 2004 環境社会報告書2004発行
- 2004 テュフラインランドジャパン(株)にて第三者意見

公害防止の時代

環境保全の時代

環境経営の時代

環境社会報告書2005の信頼性および客観性を高めるため テュフラインランドジャパン株式会社の第三者レビューを受けました。

第三者意見



「株式会社 河合楽器製作所 環境社会報告書 2005」に対する 第三者意見書

株式会社 河合楽器製作所
代表取締役社長 河合 弘隆 殿

1. 検証の範囲及び目的

テュフ・ラインランド・ジャパン株式会社(以下当社と略)は、株式会社 河合楽器製作所(以下組織と略)の作成した「環境社会報告書 2005」について、検証を実施致しました。

当社の検証目的は、同報告書の記載事項について、また、その報告内容の収集システム及び管理システムの妥当性を検証し、独立した第三者の立場から、意見を述べることです。

意見表明を目的とした検証であるため、データの正確性についての審査は、行っておりません。

2. 検証の手続き

当社は、組織との合意に基づき、提出された報告書ドラフトに対する文書検証 及び、本社・舞阪工場での、報告書記載内容と、各サイトから得られた環境情報に対する、質問と資料閲覧による現地検証により行われました。

3. 結論

テュフラインランドジャパン株式会社 検証チームは、同報告書に記載された重要な環境情報・データの収集・集計・報告の各過程に関して、信頼性が高く報告内容は、質的に正確であると結論いたします。

4. 意見

【総評】

第3者意見や、読者コメントを、積極的に活動に取り入れ環境報告に反映させており、高く評価されます。

社長コミットメントが昨年までと比べてより具体的になっており、今後の取り組みに対する積極姿勢が強く感じられ、高く評価されます。

森林資源の保護を目的としたグリーン調達に対する社長コミットメントがはっきりと打ち出されました。来年の報告書では森林資源保護への配慮や、サプライチェーンに於ける順法への取り組みなど、より詳しく触れられることを期待いたします。

舞阪工場では、環境マネジメントシステムの取り組みとして、マイナスの環境側面への対応だけでなく、有益な環境側面について重点を置き、「悪いものを減らす」取り組みから、「よいものを増やす」取り組みに発想を転換されています。マネジメントシステムの継続的改善の観点から、大変良い方向性であると思います。

【改善意見】

- 内容が多方面におよぶ為、環境報告の目的や方向性が見えづらくなっている印象を受けます。報告の目的と方向性を定め、報告書の紙面に記載するものと、詳細内容をホームページを参照し示すものとに整理し、読みやすい紙面とすることが、コミュニケーションの充実という観点から、有効であると思われます。
- 経営理念・環境方針(本社・各工場)・倫理規範及び行動基準等多くのガイドラインが作成されています。またサイト別負荷データなど、記載したい項目が増えています。これらは、うまくホームページを活用し、読者がアクセスできるようにすると良いでしょう。

評価会の様子





第三者意見を受けて

「環境省 環境報告の促進方策に関する検討会」で定める第三者レビューの種類のうち、現状のように環境報告書作成基準が未整備であっても環境保全上の必要性等に照らして、独自の判断で環境報告書及び事業者の環境への取組状況をレビューする「評価・勧告」タイプを用い第三者として「テュフラインランドジャパン株式会社」の評価を前年に続き今年度も受けました。これらの評価・勧告を真摯に受け止め、今後の報告書開示に向け努力していきます。

なお検討を求められた10項目について、以下のように対応致しました。

項目	「改善意見」への対応方法
a	次年度以降の報告書にご指摘の概念を盛り込むよう検討します。
b	次年度報告書からホームページを活用できる項目と頁アドレスの一覧を記載し活用し易くします。
c	次年度報告書から、LCAにおける各段階での著しい環境影響や利害関係者の関心事項を提示し、当社の取り組んだ達成目標や行動を記載できるよう検討します。
d	2頁に注釈として加筆しました。
e	1頁の会社概要 経常利益グラフの2004年度を16億円に修正致しました。
f	次年度以降の報告書にご指摘の概念を盛り込みます。
g	今年度の分析・対応についてはホームページ上で開示しご理解を頂きます。次年度以降につきましてはご指摘の概念を盛り込みます。
h	10頁に注釈を加筆いたしました。
i	国や静岡県PRTR窓口に関合せ、内容について変更届を提出することとしました。12頁は修正しました。
j	全国190のショップ・ショールームにて環境社会報告書を閲覧できるように致しました。またお客様のご要望があれば即配できる体制を整えています。

2004年版報告書 3,000部発行に対し16件の回答をいただきました。

2004年版のアンケート結果

アンケート結果

3,000部の発行に対し16件の回答をいただきました。

0.5%の回収率でした。

Q どのような立場でお読みになりましたか？

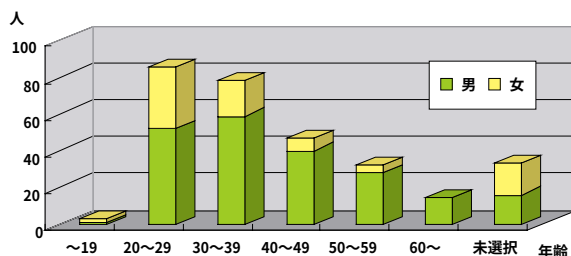
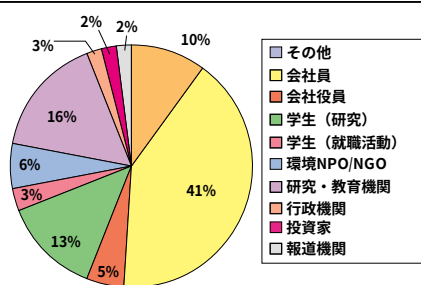
投資家・株主として	0
政府・行政機関	1
企業の環境担当者	0
事業所近隣の方	0
河合楽器と取引関係にある	0
環境NGO・NPOとして	2
学生	1
カワイグループの従業員・家族	10
製品のユーザー	0
報道機関	0
環境専門家・教育者・研究者	1
その他	1
計	16

Q 興味をもたれた記事、印象に残った項目は？

1位	事業活動に伴う環境影響収支
2位	第三者意見書
3位	お客様との関係
	従業員との関係
5位	カワイの環境への取組

♪回答者に当社のグループ員が多かったこともありベスト5に従業員との関係やカワイの環境への取組が入りました。

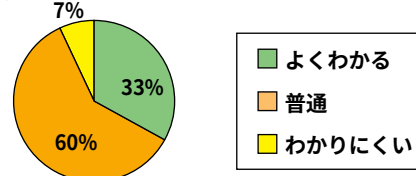
WEBにてご請求いただいた読者層のプロフィール
7月末までにご請求頂いた287名の内訳です



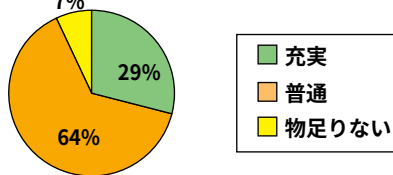
加入団体において環境等の役務を担っているもの

静岡県環境保全協会、浜松市環境保全協議会、日本作業環境測定協会、静岡県産業廃棄物協会、全国楽器協会、全国楽器製造協会、静岡県楽器製造協会、静岡県産業環境センター、音楽電子事業協会、エコデザインラボ浜松、など

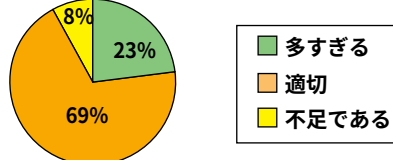
報告書のわかりやすさ



内容



情報量



2004年版に対するご意見と2005年版での対応

◎木材調達に関する方針等が報告に含まれることが望まれます
◎第三者意見でもありましたが、やはり木材の環境影響を特定して示して欲しい

♪現在地球環境委員会WGにて検討中ですが、その概要を12頁に「木材調達」として記載致しました。

◎第三者意見を受け、その対応を記されている部分に好感

♪本年度も同じように対応いたします。

◎環境パフォーマンスの頁が特に情報を盛り込みすぎのように思えます。特に河合楽器は子供との接点もありますので子供にも判る環境活動の頁があると子供の環境学習の資料として活用してもらえと思いますが。

♪貴重なご意見ありがとうございます。子供さんの工場見学の多い当社竜洋工場のガイドブックにご主旨に沿った資料を作成します。

◎2003年度のアンケート結果を開示し意見を受け止め改善されている姿勢に好感を持ちました。

♪ありがとうございます。2004年度アンケート結果も開示出来る限りの対応を致しました。

◎カワイがこんなに環境に配慮していることを知らなかった。報告書を読んで驚いた。カワイ頑張れ！

♪一所懸命努力しておりますのでこれからも宜しくご声援下さい。

2003年版に対するご意見と2005年版での対応

◎海外会社の状況についても記載すべきである

♪2005年版でカワイインドネシアのコミュニケーションを記載できましたが、まだまだ不足していると認識しています。次年度の報告書で充実させます。

最後までお読みくださりましてありがとうございました。今後の参考とさせていただきますので、
下記アンケートにご記入の上、恐れ入りますが、このページをFAXまたは郵送して頂ければ幸いです。

カワイ 環境社会報告書2005 へのご意見・ご感想

該当する項目に **V** 印をお付けください。

Q1 環境社会報告書をどのようなお立場でお読みになりましたか？

- | | | |
|------------------------------------|---|--|
| ☐ 投資家・株主として | ☐ 河合楽器と取引関係にある | ☐ 製品のユーザー |
| ☐ 政府・行政機関 | ☐ 環境NGO・NPOとして | ☐ 報道機関 |
| ☐ 企業の環境担当者 | ☐ 学生 | ☐ 環境専門家・教育者・研究者 |
| ☐ 事業所近隣の方 | ☐ カワイグループの従業員・家族 | ☐ その他 () |

Q2 環境社会報告書を何でお知りになりましたか？

- | | | |
|--|---------------------------------------|-----------------------------------|
| ☐ ホームページ（当社・当社以外） | ☐ 当社からの送付 | ☐ 環境セミナー等で |
| ☐ 新聞・雑誌 | ☐ 営業マン・教室・先生から | ☐ その他 () |

Q3 この環境社会報告書をお読みになってどのようにお感じになりましたか？

- | | | | |
|--------------|--------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|
| ・報告書のわかりやすさは | ☐ よくわかる | ☐ 普通 | ☐ わかりにくい |
| ・内容 | ☐ 充実 | ☐ 普通 | ☐ 物足りない |
| ・情報量 | ☐ 多すぎる | ☐ 適切 | ☐ 不足である |

Q4 興味をもたれた記事、印象に残った項目は？（いくつでも）

- | | | |
|---|---|--|
| ☐ 表紙 | ☐ 製品サービスにおける環境配慮 | ☐ 環境パフォーマンス |
| ◎はじめに | ☐ 研究・開発・設計・調達 段階 | ☐ 環境影響収支 |
| ☐ カワイの事業と会社の概況 | ☐ L C A | ☐ サイトでの取組例 |
| ☐ 編集方針/目次/活動の概要 | ☐ 木材調達 | ☐ 法規制の順守 |
| ☐ 社長コミットメント/経営の理念 | ☐ グリーン調達 | |
| ☐ 経営計画/新中期経営改善計画 | ◎社会性報告 | |
| ☐ 環境経営/コーポレートガバナンス | ☐ 製造 段階 | ☐ 組織で働く人々との関係 |
| ◎環境報告 | ☐ 環境汚染物質への配慮 | ☐ お客様との関係 |
| ☐ カワイの環境への取組 | ☐ 化学物質への適正管理 | ☐ 環境コミュニケーション |
| ☐ カワイ環境方針 | ☐ P C B廃棄物の保管 | ☐ 情報発信 |
| ☐ 環境経営 | ☐ 地球温暖化防止への取組 | ☐ 地域活動への参画 |
| ☐ 2004年度の環境目標と実績 | ☐ 廃棄物削減への取組 | |
| ☐ 環境マネジメントシステム | ◎資料編 | |
| ☐ 環境教育 | ☐ 輸送・販売 段階 | ☐ 環境負荷サイト別一覧 |
| ☐ 環境会計 | ☐ 流通における温暖化対策 | ☐ カワイグループのあゆみ |
| | ☐ 使用・廃棄 段階 | ☐ 第三者意見書 |
| | ☐ 容器包装リサイクル法 | ☐ 2004年版アンケート結果 |
| | ☐ リサイクル・リユース | |

Q5 環境社会報告書の内容についてのご意見や、改善するためのご提言をいただければ幸いです。

ご協力ありがとうございました。差し支えなければ下欄をご記入下さい。

（個人情報に関しましては、ご本人の承諾がない限り第三者に開示することは一切ございません）

お名前	ふりがな	男・女	年齢	歳
ご住所 (勤務先・ご自宅)	〒			
ご連絡先	TEL	FAX		
ご職業 (勤務先・部署・役職名)	E-mail			

FAX 053-457-1250

〒430-8665 浜松市寺島町200番地 株式会社 河合楽器製作所 生産統括部 環境推進室 行

KAWAI

 **株式会社 河合楽器製作所**

<http://www.kawai.co.jp/>

●お問合せ先

河合楽器 地球環境委員会

生産統括部 環境推進室

〒430-8665 静岡県浜松市寺島町200番地

TEL 053-457-1251 FAX 053-457-1250

MAIL : kankyo@kawai.co.jp

R100



本環境社会報告書の用紙は、古紙配合率100%の再生紙で、白色度は80%。漂白のための塩素は使用せず、表面塗工および特殊コーティングも施していません。また、印刷インクには、「大豆油インク」を使用することにより石油系溶剤の使用量を減らし、VOC（揮発性有機化合物）が少なく、鉛・水銀・カドミウムなどの重金属類は使用していません。

2005.9発行